三重県の文化財保護

令和２年度

2021.10

三重県教育委員会

例　　言

1　本書は、三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課が令和２年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
2　国史跡斎宮跡の発掘調査の詳細については、斎宮歴史博物館が年報として報告しているので、別途参照されたい。
3　市町文化財指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町教育委員会からの報告をもとに記載した。
4　本書記載の市町名・組織名は、各申請書等の記載名称を基本としている。

目　　次

I　文化財の指定・登録
1　県指定文化財の指定…… 1
2　国指定等文化財の指定等…… 14
3　市町指定文化財の指定等…… 17
4　三重県文化財保護審議会…… 18

II　県実施の調査・保護事業
1　特天 カモシカ 天然記念物食害対策事業…… 19
2　世界に誇る三重の文化財記録事業…… 19
3　世界遺産熊野参詣道保存管理事業…… 20
4　史　県内遺跡　発掘調査等事業…… 21
5　重文　三重県斎宮跡出土品　美術工芸品保存修理事業…… 21
6　重文　三重県斎宮跡出土品　防災施設整備事業…… 21
7　天　ネコギギ　天然記念物緊急調査事業…… 21
8　三重県文化財保存活用大綱の策定…… 22

III　文化財補助事業等
1　国庫補助事業…… 23
2　県費補助事業…… 31
3　文化資源活用事業費補助金…… 33
4　文化芸術振興費補助金…… 33
5　民間団体による助成…… 33

IV　文化財の管理・普及
1　登録審査…… 34
2　文化財の管理…… 34
3　国・県指定文化財に関する諸届等…… 49
4　文化財の公開・普及…… 52

V　資料紹介
県指定有形文化財　考第９号　　仏土寺出土品 水晶製舎利塔１個・陶器壺１個…… 53
県指定有形文化財　考第 10 号　水晶製舎利塔 附陶器壺…… 54

【表紙　神島入荒布船木札と神島】
【裏表紙　三重県内国・県指定等文化財数】

Ⅰ　文化財の指定・登録

1　県指定文化財の指定

（1）有形文化財

彫第 129 号　木造神像（もくぞうしんぞう）　5 軀

【告　示】三重県教育委員会告示第７号
（R3.3.30 発行三重県教育公報　号外）
【指定日】令和３年３月 24 日
【所在地】四日市市下之宮町 319
【所有者】宗教法人耳常神社
【年　代】男神女神坐像…平安時代、女神坐像…室町時代、神像…平安時代

《概要》

本像は、耳常（みみつね）神社に伝来した、平安時代から室町時代にかけての神像５軀である。

男神坐像１軀と女神坐像のうち残りのよい１軀（男神女神坐像２軀）は、材質、構造、作風の共通と法量の釣り合いから一具の像とみなされ、構造や形状から、平安時代（10 世紀末～11 世紀前半）の制作と考えられる。女神坐像１軀は室町時代、神像２躯は平安時代の制作と考えられる。

男神女神坐像　２軀

（男神）一木造、素地（一部彩色）、針葉樹材。壮年相か。冠を被り、盤領（あげくび）の袍（ほう）を着る。手先を袖の内におさめ、腹前で拱手（きょうしゅ）する。顔を正面に向けて坐る。木心は後方左寄りに外す。冠は墨彩。冠の先端及び両肩先以下を亡失する。面部、体部ともに朽損する。

（女神）一木造、素地、針葉樹材。木心は膝前の中央わずかに左寄りにある。髪を頭頂で結い、左右に振り分けた髪束を肩に垂らし、残る髪は背面に垂らす。首に U 字形の皺を２筋あらわす。垂領（たりくび）の衣を右衽（うじん）に着け、丸首のがい襠衣（とうえ）を着る。筒袖状の袖口から両手首先をのぞかせ、左手に持物を執り、右手をその外側下方に添えて握る。顔を正面に向けて坐る。後頭部および体部を中心に朽損する。両手首部を補修しており、持物を亡失する。

女神坐像　１軀

一木造、現状ほぼ素地を呈す、針葉樹材。木心は像のほぼ中央にある。髪は総髪とし背後に垂らす。垂領の衣２枚を右衽に着し、その上から襟を大きく寛げた衣を纏い、腰帯を締める。顔を正面にむけ、左手は左膝上、右手は右膝上に置き、左膝を立てて坐る。頭髪は墨彩。左体側から正面下方を中心に朽損する。

神像　２軀

いずれも一木造（（２）広葉樹材）。いずれも女神かとみられるが、朽損のため詳細は不明である。

《法量（単位：㎝）》

	男神女神坐像		女神坐像	神像	
	（男神）	（女神）		（１）	（２）
像高	41.6	36.3	25.9	29.6	26.3
髪際高	32.1	32.3	-	-	-
頂-顎	15.4	11.1	8.5	8.7	7.9
面長	7.0	6.2	-	-	-
面幅	7.8	7.0	6.1	5.7	5.3
耳張	8.6	9.7	7.3	7.6	8.3
面奥	10.0	8.0	6.7	6.4	8.4
胸奥	11.6	9.0	6.6	-	8.6
腹奥	10.7	13.1	10.7	-	-
膝張	21.4（現状）	27.8	18.3	17.3（現状）	
坐奥	15.3	10.9	14.6	-	-

《伝来》

本神像群は耳常神社に伝来し、現在は本殿内に安置される。耳常神社の祭神は神八井耳命（かんやいみみのみこと）とされるが、現存５軀の尊名にかかる社伝はない。

耳常神社は、『延喜式（えんぎしき）』神名帳（じんみょうちょう）に記載される式内耳常神社に比定される神社のひとつである。明治 41 年（1908）に境内社山神社（大山祇命）と、広永村の耳利神社（神沼河耳命、建御雷之男神、齋主神、天兒屋根命、姫大神）が合祀される。祭神の神八耳命は『古事記』において伊勢船木直の祖と伝わる。

《評価》

木造神像５軀のうちでも男神女神坐像２軀は、県内に残る神像彫刻の中では、鈴鹿市伊奈冨神社の木造男神坐像（重要文化財）、同市神宮寺の木造男神坐像（県指定）に次ぎ、多気町御霊（ごりょう）神社の木造男神坐像・木造女神坐像（県指定）、鈴鹿市菅原神社の木造天神坐像（県指定）などに並ぶ古例として位置付けることができる。制作年代は 10 世紀末から 11 世紀前半とみられ、三重県の彫刻史上、貴重な作例である。

また本神像群は、像容が定かでない像も含めて、ひとつの神社に伝来した神像群を考えるうえで貴重な事例であり、美術史のみならず地域史の観点からも、今後の幅広い議論に資する学術的価値を有する。

以上より、耳常神社に伝来した神像５軀は県指定文化財（彫刻）として指定し、今後も万全の保護を図る必要がある。

【参考文献】
・伊東史朗総監修『神像彫刻重要資料集成』第３巻、関西編２（国書刊行会、2016 年）
・式内社研究会編『式内社調査報告』第６巻　東海道１（皇學館大學出版部、1990 年）

男神女神坐像　２軀

（男神坐像）

（女神坐像）

女神坐像　１軀

神像　２軀

（１）

（２）

彫第 130 号　塑造仏頭（そぞうぶっとう）　1 個

【告　示】三重県教育委員会告示第７号
（R3.3.30 発行三重県教育公報　号外）
【指定日】令和３年３月 24 日
【所在地】四日市市西日野町 2970
【所有者】宗教法人顕正寺
【年　代】奈良時代

《概要》

顕正寺に伝来した塑造の如来頭部である。残存長 13.9cm で、後頭部（両耳後方）と頸部以下（頸部上方から下）を欠失するが、元々はほぼ半等身の大きさであったと考えられる。欠失面は、後頭部は垂直平面、頸部以下は摩滅しながらもほぼ水平である。坐像か立像かは判断できない。半眼、閉口の慈悲相。肉髻をあらわし、素髪。表面は彩色仕上げだったと思われ、現状の黒褐色は後補である。白毫（びゃくごう）の嵌入はないが、彩色であらわされていた可能性はある。耳朶を欠失する。肉髻の正面および背面、頭部右方、鼻頂をわずかに欠損する。

後頭部欠失面から構造をうかがうと、心木と荒土層がともになく、中央部に中土、周辺部に仕上げ土という二層の塑土が認められる。いずれも薄い赤茶色の細かな土で、紙スサ入り。顎あたりの中土層が脱落し、それを覆っていた仕上げ層内面は平滑である。

推定される心木構造や作風から、奈良時代 8 世紀後半頃の制作と考えられる。

《特徴》

心木の無い点は、技法にかかわる重要事項として注意される。中土層の上下にそれぞれ下向きと上向きに小さな丸孔（深さ各 0.6 ㎝、2.5 ㎝）がうがたれるが、両者はつながっていない。さらに中土層背面（後頭部欠失面）中央には上下 2 箇所に角釘（鉄釘と思われる）の抜き取り痕があり、上の釘は斜め下向きに、下は斜め上向きに打ち込まれ、深さは各 4.8 ㎝、4.5 ㎝あるため、その先は中土層表面近くまで達している。両耳下に小孔が 2 つずつある。

中土層の上下にある丸孔は、それぞれ肉髻と頸部以下をつなぐ棒が差し込まれていたと推定される。中土層背面中央に打ち込まれた釘が角度を変えているのは、しっかり固定するためである。両耳下にある小孔各 2 は銅線を刺した痕で、それを心にして塑土を着せて耳朶を形成する。

後頭部欠失面が垂直平面のため、高浮彫り像だった可能性も考えられるが、塑像には高浮彫りの例がないため、別の想定が必要である。近年の修理でその構造の明らかになった東大寺法華堂旧在（東大寺ミュージアム保管）塑造弁才天像は、頭部心木の前面に顔の丸みに合わせた別木を釘打ちし、その上に仕上げ土を盛るという、従来の単純な心木に改良を加えた仕様である。これを参考にすると、本像の中土層は、弁才天像の心木に打ちつけられた別木に相当し、背面が平らなのは心木が接していたためと推定される。

顎あたりの仕上げ層内面が平滑である。これは、対応する中土層表面が平滑だったこと

を意味し、それが脱落したと考えられる。
　以上を総合すると、心木（現状は欠失）に、顔の丸みに合わせた中土層を釘打ちし、その上に仕上げ土を盛ったものと想定できる。3 寸釘ならば、打ち込まれた深さを引いて心木の厚みは 3～4 ㎝ほどである。中土層の表面が平滑だと推定されるため、東大寺弁才天像や石山寺金剛蔵王像（天平宝字 6 年(762)）がそうであるように、仕上げ層と同じ目鼻立ちが中土層にも表現されているものと推測される。
　木骨心木から木彫心木への変化、そしてそれを改良するという心木の変遷（山崎隆之氏）に照らして、本像の心木構造はその改良型に属すると考えられる。その一例である東大寺弁才天像（付属品と推定される正倉院天蓋は天平勝宝 6 年（754）銘）や、作風が近い法隆寺塑造梵天・帝釈天像（8 世紀）などから、本像の製作は奈良時代 8 世紀後半頃と考えられる。

《伝来》
　顕正寺に伝来する。延喜年間（901～923）、当寺の北にあった安国寺跡から出土したと伝えるが確証はない。安国寺は、延暦 19 年（800）創建の西明寺が前身寺院とされるが、これも確かではない。

《評価》
　塑像断片の出土例は全国的に多いが、本例は面部だけとはいえほぼ完好な状態を保っており、この種の遺例の中で注目すべき作品といえる。技法の面では、後頭部欠失のため塑土の構成がはっきり分かる貴重な事例であり、また、心木構造に関する重要な資料をも提供している。
　三重県下には小金銅仏や押出し仏、塼仏など飛鳥・奈良時代の遺品はあるが、ある程度の大きさの丸彫り像は伊賀市見徳寺の木造薬師如来像（飛鳥時代後期）だけである。奈良時代の塑像遺品である本例の存在は、当県の歴史を語る上で欠かせないものである。
　以上により、県指定文化財（彫刻）として指定し、今後も万全の保護を図る必要がある。

【参考文献】
山崎隆之「X 線画像による塑像の心木構造の調査・研究」（『奈良時代の塑造神将像』奈良国立博物館、2010 年）

正面

右から

左側面～背面

背面

右側面

上面

下から（上が背面）

下から（上が前面）

書第 69 号　神島入荒布船木札（かみしまいりあらめふねきふだ）　6 枚

【告　示】三重県教育委員会告示第７号
（R3.3.30 発行三重県教育公報　号外）
【指定日】令和３年３月 24 日
【所在地】鳥羽市神島町１番地
【所有者】宗教法人八代神社
【年　代】永禄６（1563）年

《概要》

本資料は、神島（鳥羽市神島町）への入船（舟航）と、荒布（あらめ）の採取（漁業）の２点を許可した木製の札である。いずれも永禄６年(1563)５月 29 日付けで、６枚ある。それぞれの表裏面には、花押のみ異なる、ほぼ同一内容の文面が墨書されている。

《用材》

用材はいずれも針葉樹で、ヒノキと考えられる。一辺約 16.5 ㎝（５寸半）四方、厚さ約２㎝の板材で、６枚の大きさは概ね揃っている。木取りは、木札①～⑤が板目（中杢（なかもく））材、木札⑥が柾目（まさめ）材である。全体にヤリガンナ調整が見られ、木札⑥すなわち柾目材のみ側面に鋸痕が確認できる。小口部は面取りされ、側辺はさらに研磨等によって丸みを帯びさせているようである。

６枚全て表面に柿渋を塗布している。板材は全体に煤けているが、これは後世に付着したものと考えられる。

《資料の状況》

用材の外皮側（木表（きおもて））を表面、木の中心に近い側（木裏（きうら））を裏面とする。墨書は、１面あたり５行取りの文面が６枚の表裏面に全てに見られる。記載内容は、木札⑥の裏面では「船頭」の文字が抜けるのみで、他は全て同文である。花押は表裏面で異なる。１行目は文書でいう事書（ことがき）で、荒布採取のために神島に入る船であることを示す。２行目は船の規模と数。３行目は花押及び１艘あたりの船数、そして一面を除き「船頭」と記載される。４行目が文書でいう本文言に相当する。５行目は年月日。通常の文書とは異なり、差出人・宛所とも記載が無いが、事書・本文言・年月日は揃っており、異質ではあるが文書の体裁をなしている。

内容から、本資料は神島へ荒布採取のため入船する五丁立の船７艘それぞれに配布することを目的に発給された木製の文書（許認可証書）で、６枚ある。対象となる船は７艘なので、もう１艘分については、同種のもの１枚が未発見なのか、あるいは別の素材（布等）が発給されたなどが考えられる。

荒布は海域の岩礁部に繁茂する海藻の一種で、江戸時代の志摩半島沿岸部では「海産第一」

とされ、救荒時の備蓄用あるいは副食用として主に京都・大坂など関西方面で高い需要があった。「五丁立」とは櫓の数によって船の大きさを表す基準のことで、片舷２丁ずつと船尾１丁の櫓を持つ小型船を指すとみられる。本文言にあたる４行面の末尾書き留めは「如件」であり、上位者である発給者（花押を据えた人物）による許認可証書と見なされる。中央上に据えられる花押が表裏で異なる（花押 A・B）のは、神島に赴き荒布を採取するに際し、異なる２者から許認可を得る必要があったことを示している。

一部の木札には永禄６年の文面以前に書かれた文字が観察できる。文字は明確に判読できないが、この木札は複数回使い回された可能性がある。

許認可証書は紙で発給されたものが多いが、本資料は柿渋の塗られた木札である点に特徴がある。これは、風雨に晒される海上において、常時携行するための耐久性が必要であったためと考えられる。なお、木札②・④・⑥の表面には縄状の圧痕が見られるが、これが使用方法と関連するのかどうかは不明である。

《資料の伝来経緯》

本資料は神島に鎮座する八代神社に保管されている。このため、八代神社、もしくは宮座などの形で関与していた神島村地下中のような存在が、本資料の発給者であった可能性も考えられるが、花押の主が何者かという問題も含め、伝来経緯についても今後の課題である。

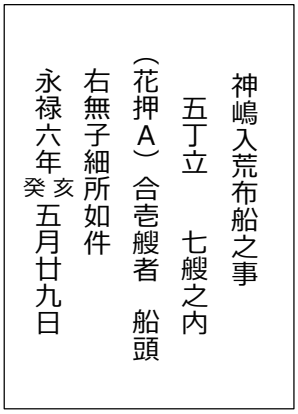
《評価》

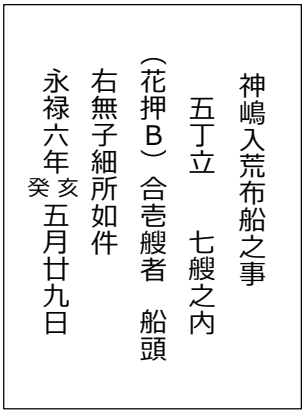
本資料は木製で、室町時代末期の永禄６年に作成された、海域での生業時に携行するための許認可証書である。これまで、携行用の木製許認可証書としては、「山札」や「茅札」と呼ばれる、陸上（山）での生業（茅採集）を許可したものが知られていたが、本資料は海での生業にかかる室町戦国時代の木札の実例として初めてのものであり、全国的に見ても貴重である。また、２領主から同時に許認可されていることを示すその内容は、室町戦国時代の海の領有（領海）を考えるうえで重要である。

当資料は学術的価値が極めて高く、県として末永く保存するのが適切である。

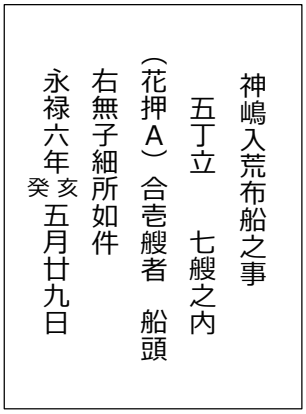
【参考文献】
・石井進「中世木簡の一形態―山札・茅札についての覚書」（『木簡研究』10、1988 年）
・中田四朗「近世の志摩における海女漁業と荒布の採取」（『郷土志摩』50、1976 年）
・中田四朗「近世における志摩の荒布漁業」上・下（『海と人間』15･17、1988･90 年）
・『日本の船―丸木船から洋式帆船まで』（(財)日本海事科学振興財団、1977 年）
・『三重県史』資料編中世２（三重県、2005 年）
・『山科家禮記』第一（史料纂集、続群書類従完成会、1967 年）

・木札①～⑤　左：表面　右：裏面





・木札⑥　左：表面　右：裏面



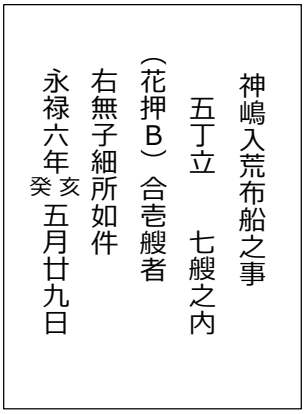


表１　神島入荒布船木札　観察表

番号	用 材	木取り	法量(cm)			調　整	記載内容(表)	記載内容(裏)	備　考
			縦	横	厚				
1	針葉樹	板目 (中杢)	17.2	16.3	1.8	全面ヤリガンナ	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押A)合壱艘者　船頭 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押B)合壱艘者　船頭 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	永禄6年墨書以前の墨書あり
2	針葉樹	板目 (中杢)	16.6	16.5	1.9	全面ヤリガンナ	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押A)合壱艘者　船頭 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押B)合壱艘者　船頭 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	外面に縄目圧痕 永禄6年墨書以前の墨書あり
3	針葉樹	板目 (中杢)	16.7	16.4	1.9	全面ヤリガンナ	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押A)合壱艘者　船頭 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押B)合壱艘者　船頭 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	永禄6年墨書以前の墨書あり
4	針葉樹	板目 (中杢)	17.2	16.4	1.9	全面ヤリガンナ	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押A)合壱艘者　船頭 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押B)合壱艘者　船頭 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	外面に縄目圧痕 永禄6年墨書以前の墨書あり
5	針葉樹	板目 (中杢)	17.1	16.4	1.8	全面ヤリガンナ	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押A)合壱艘者　船頭 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押B)合壱艘者　船頭 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	永禄6年墨書以前の墨書あり
6	針葉樹	柾目	16.8	16.5	1.8	側辺は鋸その後全面ヤリガンナ	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押A)合壱艘者　船頭 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	神嶋入荒布船之事 五丁立　七艘之内 (花押B)合壱艘者 右無子細所如件 永禄六年<癸亥>五月廿九日	外面に縄目圧痕 永禄6年墨書以前の墨書あり

1（表）

1（裏）

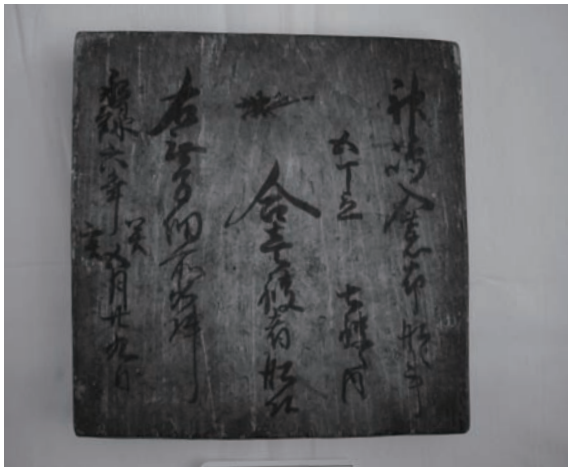
2（表）

2（裏）

3（表）

3（裏）

写真図版１　神島入荒布船木札　１～３



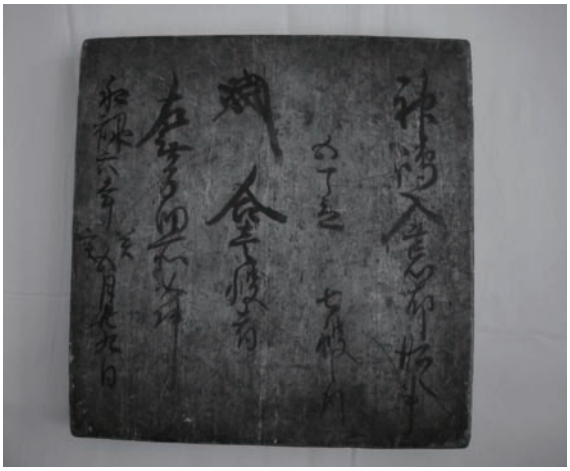
4（表）

4（裏）

5（表）

5（裏）

6（表）



6（裏）

写真図版２　神島入荒布船木札　４～６

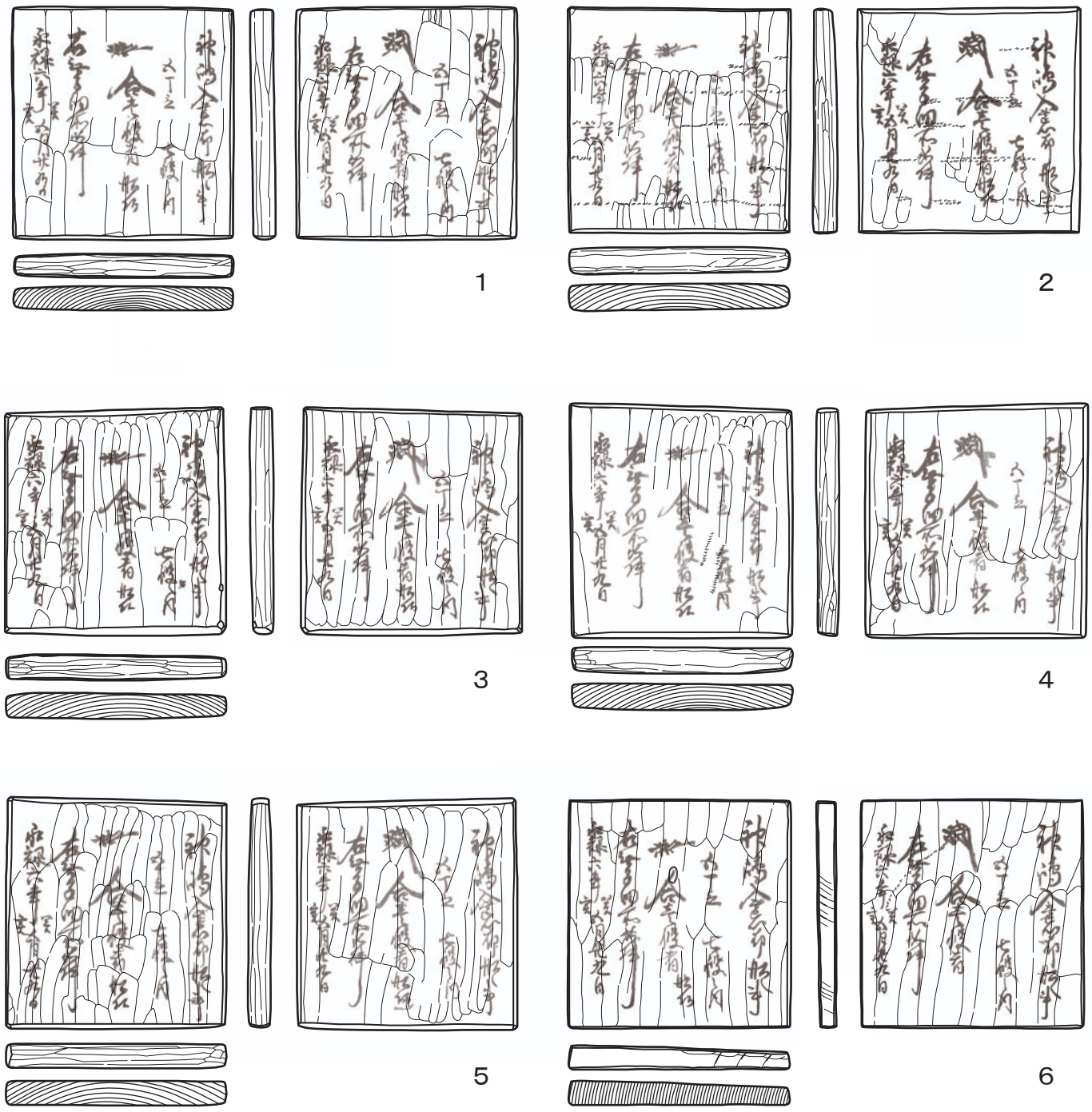
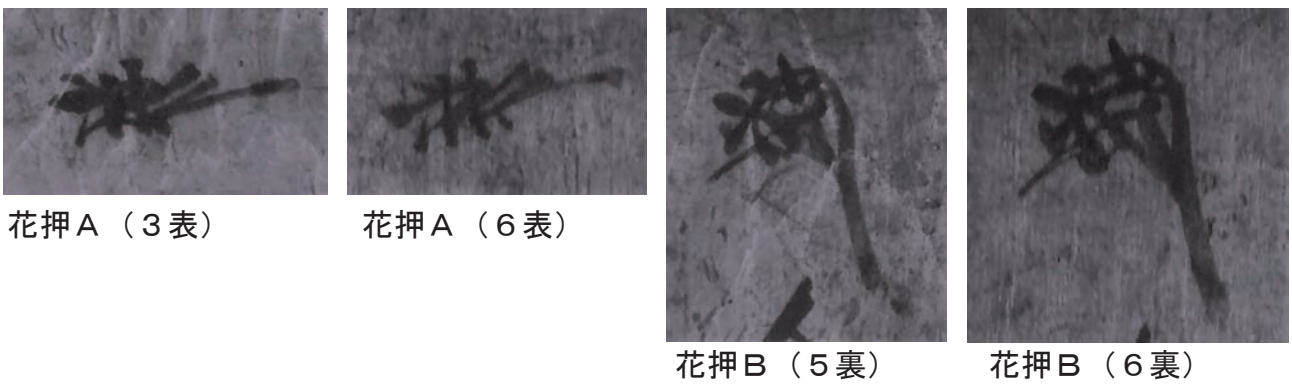


図１　神島入荒布船木札実測図



花押Ａ（３表）　花押Ａ（６表）　花押Ｂ（５裏）　花押Ｂ（６裏）

写真図版３　神島入荒布船木札　花押

2　国指定等文化財の指定等

（１）史跡の指定

【史跡】鈴鹿関跡

（写真提供：亀山市）

指 定 日：令和３年３月 26 日
所 在 地：亀山市関町新所
年　　代：奈良時代
指定面積：5,453.41 ㎡
概　　要：鈴鹿関は奈良時代に不破関（岐阜県）、愛発関（福井県）とともに三関とされた律令国家によって最も重要とされた交通管理施設である。平成 17 年度以降、亀山市教育委員会により、遺構の検出を目的とした分布調査が実施され、関宿の北方に位置する観音山から、南方に位置する城山を経て鈴鹿川に至る総延長約 650m以上に及ぶ南北方向の築地塀の存在が想定された。平成 18 年度から築地塀の位置と構造等を確認するための発掘調査が実施され、観音山とその南麓で８世紀中頃と考えられる瓦葺きの築地塀の一部が検出された。鈴鹿関は謀反人が京から東国へ逃れ兵を整えることを防ぐ軍事・警察的役割が付与されており、長大な築地塀はその役割を視覚的に示していたことが明らかになった。このように、鈴鹿関跡は奈良時代における交通政策、律令国家の統治形態、軍事・警察の諸制度の実態を示す特異な官衙遺跡として貴重である。

（２）有形文化財（建造物）の登録

24-0274　西方寺木枯亭　　１棟

登 録 日：令和２年４月３日
所 在 地：鈴鹿市寺家
所 有 者：西方寺
建設年代：明治前期／昭和 40 年頃・平成 24 年改修
登録基準：（一）国土の歴史的景観に寄与するもの
概　　要：西方寺木枯亭は、真宗高田派・光雲山西方寺の本堂の西側に建つ。切妻屋根の木造平屋建ての建物で、南側に入母屋屋根の式台玄関が取り付く。建物の内部には鞘の間、床・棚を備えた座敷を持ち、境内を構成する上質な書院となっている。
木枯亭の亭号は、俳人山口誓子（やまぐちせいし・明治 34 年～平成６年）の「海に出て木枯帰るところなし」の句にちなみ、誓子によって命名された。誓子は、昭和 23 年から 28 年に寺家で過ごした際、句作の指導を通じて当時の西方寺住職と交友があり、木枯亭では俳句の会などが開催された。

24-0275　伊達家住宅主屋　　1棟

登 録 日：令和２年４月３日
所 在 地：鈴鹿市江島本町
所 有 者：個人
建築年代：明治中期／明治後期増築
登録基準：（一）国土の歴史的景観に寄与するもの
概　　要：伊達家は、白子港の海運と伊勢街道を利用した商家で、江戸時代には肥料、燃料、米等の商いや山林の経営をしていた。敷地は伊勢街道に正面を向け、背面は白子港から北に入り込んだ掘割に面している。主屋は切妻屋根の木造二階建てで、主体部の南側に米蔵、北側に納戸が並んでいる。二階の外壁を黒漆喰塗とし、窓には虫籠窓が取り付くなど、重厚な表構えをみせる。明治時代中期の商家の家屋構成をよく示しており、街道沿いの歴史的景観に寄与している。

24-0276～0281　横山家住宅主屋・書院及び渡廊下・尽日庵・旧診療所・土蔵・正門　　6棟

登 録 日：令和２年４月３日
所 在 地：三重郡菰野町大字菰
所 有 者：（株）ワイワイ
建築年代：主屋：江戸末期／大正８年改修
　　昭和前期・同 40 年頃増築
　　書院及び渡廊下：昭和 43 年頃
　　尽日庵：明治中期／昭和 27 年頃・
　　同 43 年頃移築
　　旧診療所：明治後期／昭和 20 年改修
　　土蔵：江戸末期／大正８年頃・平成 28 年改修
　　正門：江戸後期／昭和 40 年頃改修
登録基準：主屋・書院及び渡廊下・旧診療所・土蔵…（一）国土の歴史的景観に寄与するもの
　　尽日庵・正門…（二）造形の規範となっているもの
概　　要：横山家は、江戸時代に庄屋や代官、明治時代には村長、大正時代に衆議院議員を務め、明治時代に入り病院を開院した。敷地のほぼ中央にある主屋は入母屋屋根の平屋建て、渡廊下で主屋とつながっている書院は切妻屋根の平屋建てで、床の間や縁側などに洗練された宮大工の技が見て取れる。木造平屋建てで切妻屋根の尽日庵は、明治時代に表千家の吉田紹敬の好みをもとに設計された茶室で、昭和 43 年頃に現在の敷地に移築された。旧診療所は、寄棟屋根の木造平屋建てで、うろこ状の板で仕上げた外壁が特徴的となっている。土蔵は切妻屋根の土蔵造２階建てで、外壁にはモルタル洗い出し、漆喰塗などの手法が見て取れる。正門は江戸時代後期に建てられたと考えられ、表面の漆喰塗や軒内土間の石張りなどは、旧家の屋敷構えに風格を添えている。

24-0282～0285　糀屋太郎兵衛商店店舗兼主屋・道具蔵・奥蔵及び米蔵・糀室　４棟

登 録 日：令和３年２月４日
所 在 地：松阪市魚町
所 有 者：個人
建築年代：店舗兼主屋：明治 26 年頃
　　道具蔵：安政２年／明治 26 年頃増築
　　奥蔵及び米蔵：明治 26 年
　　糀室：明治 26 年頃
登録基準：店舗兼主屋・道具蔵・奥蔵及び米蔵…
　　（一）国土の歴史的景観に寄与するもの
　　糀室…（三）再現することが容易でないもの
概　　要：糀屋太郎兵衛商店は、江戸時代から代々糀製造販売を行ってきた商家で、歴代当主は太郎兵衛もしくは太良兵衛を名乗っている。明治 26 年の松阪町大火後間もない時期に再建された店舗兼主屋は、切妻屋根の二階建で、土間や「みせ」、仏壇や神棚が作りつけられた「だいどこ」などがあり、明治時代中期の伝統的な松阪の町家形式を示している。道具蔵は、明治 26 年の大火を免れた、切妻屋根の二階建である。奥蔵及び米蔵は切妻屋根の二階建で、店舗兼主屋と同じ頃に再建された。木造平屋建の糀室は、壁面と屋根全体をかまぼこ状に漆喰塗り仕上げした外観が特徴的で、現在も糀造りが行われている。

24-0286～0289　伊賀鉄道上野市駅舎・桑町跨線橋・小田第二暗渠・小田烘橋　１棟・３基

登 録 日：令和３年２月４日
所 在 地：伊賀市上野丸之内・上野桑町・小田町
所 有 者：伊賀市
建築年代：上野市駅舎：大正６年
　　桑町跨線橋：大正 11 年
　　小田第二暗渠：大正５年
　　小田烘橋：大正５年
登録基準：上野市駅舎・桑町跨線橋・小田烘橋…（一）国土の歴史的景観に寄与するもの
　　小田第二暗渠…（三）再現することが容易でないもの
概　　要：伊賀鉄道は、大正５年に伊賀軌道として「伊賀上野駅」から「上野町駅」の路線が開業し、大正 11 年に全線が開通、大正 15 年に電化された。上野市駅舎は三階建ての駅舎で、一階はコンコースと駅務室、二階は駅員の仮眠室等として使われている。屋根は急勾配の腰折屋根で、上から見ると十字形を呈した独特の形となっている。伊賀の近代化を示す建物であり、中心市街地のシンボルとして市民に親しまれている。
　　桑町跨線橋は煉瓦造りのアーチ橋で、橋の上を市道桑町工業高校線が通っている。小田第二暗渠は、花崗岩を積み上げた橋脚の上に、花崗岩の切石を載せて造られている。小田烘橋は、花崗岩を積み上げた橋脚の上に煉瓦をアーチ状に積み上げ、花崗岩の要石で固めている。これらは、今なお親しみ使われ続けている歴史的建造物である。

3　市町指定文化財の指定等

（1）指定

市町	種別	名称	所在地	所有者 （保持団体）	指定日
四日市市	有形文化財 （古文書）	滝川一益寄進状（天正三年十二月）	四日市市日永二丁目	興正寺	R3.3.24
	有形文化財 （古文書）	羽柴秀吉禁制	四日市市日永二丁目	興正寺	R3.3.24
松阪市	有形文化財 （美術工芸品）	木造阿弥陀如来立像	津市一身田上津部田 3060（三重県総合博物館）	安楽寺	R2.4.21
	有形文化財 （美術工芸品）	木造地蔵菩薩立像	津市一身田上津部田 3060（三重県総合博物館）	安楽寺	R2.4.21
	有形文化財 （建造物）	黒瀧神社本殿　附　棟札等	松阪市飯高町森	黒瀧神社	R2.11.24
	天然記念物	粟野・田引の中央構造線	松阪市飯高町粟野・田引	松阪市	R2.11.24
伊勢市	有形文化財 （歴史資料）	旧市川造船所資料 （船舶設計図面）	伊勢市岩淵	伊勢市	R2.8.24
	無形民俗文化財	朝熊町の河崎音頭	伊勢市朝熊町	朝熊町河崎音頭保存会	R2.8.24
鈴鹿市	有形文化財 （美術工芸品）	極珍書	鈴鹿市若松中１丁目	個人	R2.9.29
	有形文化財 （美術工芸品）	漂流船実録	鈴鹿市若松中１丁目	大黒屋光太夫記念館	R2.9.29
	有形文化財 （美術工芸品）	小市の遺品	鈴鹿市若松町１丁目	大黒屋光太夫記念館	R2.9.29
伊賀市	無形民俗文化財	伊賀のカンジョウナワ行事	伊賀市長田、菖蒲池、東谷、柘植町、中柘植、石川、西湯舟、中友田、槙山	平尾区、菖蒲池区、東谷区、岡鼻区、中柘植区、穴石神社氏子青年会、西湯舟区、歓縄講、槙山区	R3.2.24
名張市	有形文化財 （美術工芸品）	石造五輪塔	名張市下比奈知	永福寺	R3.3.1

（2）解除

市町	種別	名称	所在地	所有者 （保持団体）	解除日
四日市市	無形文化財 （工芸技術）	四日市萬古焼	四日市市京町	四日市萬古焼 伝統技術保存会	R3.1.13
	有形文化財	塑造仏頭	四日市市西日野町	顕正寺	R3.3.24
	有形民俗文化財	木造男神・女神坐像	四日市市下之宮町	耳常神社	R3.3.24
伊勢市	天然記念物	宿り木の桜	伊勢市宇治今在家町	神宮	R3.2.12
鳥羽市	有形民俗文化財	アラメ入会手形	鳥羽市神島町	八代神社	R3.3.24
多気町	記念物	波多瀬の山桜	多気町波多瀬	波多瀬区長	R3.3.1

4　三重県文化財保護審議会

（1）審議会委員（任期：令和2年9月24日～令和4年9月23日）

氏　名	担当分野	所　　属
黒田　龍二	建造物	神戸大学大学院名誉教授
岡田　昌彰	建造物	近畿大学教授
梶谷　亮治	絵画・工芸	奈良国立博物館名誉館員
山口　泰弘	絵画・工芸	三重大学教授
永島　明子	絵画・工芸	京都国立博物館室長
伊東　史朗	彫刻	和歌山県立博物館長
松岡　久美子	彫刻	近畿大学准教授
藤澤　典彦	彫刻・考古資料・歴史資料（石造物）	大阪大谷大学非常勤講師
岡野　友彦	文書・典籍・歴史資料	皇學館大学教授
岡嶌　偉久子	文書・典籍・歴史資料	天理大学附属天理図書館稀書目録室長
櫻井　治男	民俗	皇學館大学名誉教授
鬼頭　秀明	民俗	中京大学非常勤講師
広瀬　和雄	考古資料・史跡・埋蔵文化財	国立歴史民俗博物館名誉教授
小澤　毅	考古資料・史跡・埋蔵文化財	三重大学教授
高橋　知奈津	名勝・埋蔵文化財	奈良文化財研究所研究員
森　誠一	天然記念物（動物）	岐阜協立大学大学院教授
前迫　ゆり	天然記念物（植物）	大阪産業大学大学院教授
道林　克禎	天然記念物（地質・地形）	名古屋大学教授

（2）審議会

第1回	日　時	令和2年7月27日（月）13時30分～16時30分
	場　所	三重県　合同ビル2階　201会議室
	内　容	○報告　令和2年度文化財保護事業について 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について ○諮問　令和2年度三重県指定候補文化財について ○審議　令和2年度三重県指定候補文化財の選考及び調査について
第2回	日　時	令和3年2月22日（月）13時30分～16時30分
	場　所	三重県庁　7階　教育委員室（三重県津市広明町13）　リモート併用
	内　容	○報告　国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について ○審議　令和2年度三重県指定候補文化財について ○答申　令和2年度三重県指定候補文化財の指定等について

Ⅱ　県実施の調査・保護事業

1　特天　カモシカ　天然記念物食害対策事業

【事業費 2,528,007 円（国 2/3　1,685,000 円、県　843,007 円)】

（１）紀伊山地カモシカ保護地域通常調査

おおむね８年に一度実施されるカモシカ特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。

調査指導員	冨田靖男（元三重県立博物館長） 武田明正（三重大学名誉教授） 高柳　敦（京都大学大学院農学研究科講師） 橋本幸彦（四日市大学環境情報学部准教授）			
現地調査員	松阪市	木下　幸一・木下　康次	紀北町　旧海山	平山　彰也・世古　錬
	大台町	中須　真史・橋爪　弘樹	尾鷲市	吉澤　映之・吉澤　重之
	紀北町　旧紀伊長島	森井　大輔・深瀬　優貴		
連絡会議	開催日	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		

（２）鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査

おおむね８年に一度実施されるカモシカ特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。

調査指導員	冨田靖男（元三重県立博物館長） 武田明正（三重大学名誉教授） 高柳　敦（京都大学大学院農学研究科講師） 橋本幸彦（四日市大学環境情報学部准教授）			
現地調査員	いなべ市藤原町	坂倉　義行・近藤　恒三	菰野町	満田　学・森　豊
	いなべ市北勢町	小森　良一・出口　幸雄	四日市市	橋本　幸彦・ サウド　パワン
	いなべ市大安町	伊藤　友貴・山田　忠俊	鈴鹿市	前田　有・小岐須　佐典
連絡会議	開催日	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		

（３）特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

特別天然記念物カモシカの保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の動態、食害状況等について情報収集を行うとともに、今後の施策、食害対策等について協議する会議で、文化庁と開催地の地方公共団体が主催している。

令和２年度は、三重県が開催自治体であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化庁と協議のうえ、令和３年度へ延期することとなったため、本年度の開催は見送られた。

2　世界に誇る三重の文化財記録事業【事業費　419 千円（県　419 千円)】

（１）映像記録等作成活用事業

これまでに作成した「鳥羽・志摩の海女漁の技術」に関する映像記録を、在宅学習用教材の一つとして県教育委員会新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイトにて Web 公開した。

（２）海女習俗情報発信事業

海女漁及び関連する習俗について認知度向上を図るため、現地で取材を行った動画コンテンツをインターネット公式チャンネル（フェイスブック・ユーチューブ）で公開した。

また、関西圏（京都府）において実施された三重県フェアにて、海女映像展を開催した。

開　催　期　間	展 示 場 所
令和２年 12 月４日～６日	京都・イオン桂川
令和２年７月 28 日～31 日 （特集展示７月 28 日～12 月 25 日）	三重県庁

さらに、海女習俗の内容を含む特集展示「疫病退散！古代人の護符『セーマン』『ドーマン』－古代から現代まで続く“まじない”や“祈り”でコロナを乗り越えよう！－」（三重県埋蔵文化財センター主催）の開催に合わせて、海女パネル展を三重県庁にて開催した。

3　世界遺産熊野参詣道保存管理事業【事業費　480 千円（県　480 千円）】

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」（平成16.7.7登録、平成28.10.24追加登録）の良好な保存管理のため、文化庁、奈良県・和歌山県、関係市町と連携した取組を行った。

（１）世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会【三重県負担金　220 千円】

①　趣旨と構成

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』（以下、三県協議会という）は、三重・奈良・和歌山の三県が、登録資産の保存・管理・活用の推進を目的に、平成17年度に設置した。会長・副会長・委員及び監事で組織されており、事務局は和歌山県（商工観光労働部観光振興課）に置かれている。三重県における役職の構成は、以下のとおり。

副会長　　鈴木英敬（三重県知事）
委　員　　木平芳定（三重県教育委員会教育長）、河上敢二（熊野市長）、
　　中井克佳（紀北町教育委員会教育長）
監　事　　中野敦子（三重県教育委員会育成支援・社会教育担当次長）

②　三県協議会総会

開催方法　書面協議
議事内容　令和元年度の事業報告・決算・監査報告、令和２年度事業計画・予算案
事業計画　世界遺産の保存等に関する定期報告書の作成、保全状況のモニタリング調査と保存管理の実施、専門委員会の開催、行政担当者会議の開催、普及啓発活動（「紀伊山地の参詣道ルール」の周知）、シンボルマークの利用促進

③　三県協議会専門委員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

④　第８回　世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」行政担当者会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（２）県内の世界遺産保存管理

①　三重県世界遺産保全推進協議会幹事会

開催日時　令和２年９月14日（月）１３：30～１５：00
場　　所　オンライン
内　　容　世界遺産熊野参詣道の保全にかかる課題

②　県職員を対象とした世界遺産講習会

開催日時　令和２年10月19日（月）　13:00～16:00
場　　所　三重県熊野庁舎大会議室AB（熊野市井戸町）
内　　容　講演１「世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」とは何か～世界遺産の価値から保護の手法まで～」　伊藤文彦（三重県教育委員会）
　　講演２「開発事業や活用事業と世界遺産保護の調整実務～熊野参詣道伊勢路、鬼が城、獅子巌、花の窟、熊野川～」　伊藤文彦（三重県教育委員会）

③　世界遺産講演会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4　史　県内遺跡　発掘調査等事業

【事業費 13,282 千円（国 1/2　6,641 千円・県 1/2　6,641 千円】

（１）県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査【事業費 1,680 千円（国 1/2　840 千円・県 1/2　840 千円)】

県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査費のうち、農家負担分補助事業。

（県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査）

遺　跡　名	所 在 地	原　　因	期　間	面積㎡	主要遺構、遺物
金沢川遺跡	鈴鹿市岸岡町	農地整備事業（経営体育成型）	R2.8.4～ R3.2.4	2,367	掘立柱建物、土坑、溝、土坑墓 土師器、須恵器、硯、木鋤

（２）埋蔵文化財出土遺物保存処理【事業費 744 千円（国 1/2　372 千円・県 1/2　372 千円】

亀山市井田川茶臼山古墳出土の鉄製品のうち、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、恒久保存を図る。

令和元年度は、合計 10 点の長頸鏃の保存処理を実施。

（処理委託：株式会社　吉田生物研究所）

（３）国史跡斎宮跡発掘調査【事業費　10,858 千円（国 1/2　5,429 千円・県 1/2　5,429 千円)】

国史跡斎宮跡において、史跡西部の「初期斎宮」想定地の実態を解明するための調査として、約 270 ㎡の計画調査（第 199 次）を実施した。

5　重文　三重県斎宮跡出土品　美術工芸品保存修理事業

【事業費 2,040 千円　（国 1/2　1,020 千円・県 1/2　1,020 千円)】

斎宮跡出土品について保存修理を行う。令和２年度は、土師器５点について、解体、クリーニング、強化処置、再接合、復元、補彩、及び銅製品１点の保存処理を行った。

委託：（株）吉田生物研究所

6　重文　三重県斎宮跡出土品　防災施設整備事業

【事業費 2,040 千円　（国 65%　13,143 千円・県 35%7,077 千円)】

斎宮歴史博物館常設展示室Ⅰ・Ⅱおよび映像展示室の防火設備改修を行った。

委託：日本通運株式会社・イオンディライト株式会社・総合防災ナカテック・
株式会社カズデン・株式会社日乃出エヤコン・株式会社山口商会

7　天　ネコギギ　天然記念物緊急調査事業

【事業費 2,193,600 円（国１/２　1,096,000 円、県　1,097,600 円)】

（１）天然記念物ネコギギ生息状況調査

三重県内におけるネコギギの生息する、また生息の可能性がある河川において、ネコギギの適切な保護管理のための基礎資料とするため生息調査を実施した。

ネコギギ潜水調査業務委託：パシフィックコンサルタンツ株式会社

（２）天然記念物ネコギギ保護管理指針改定に向けた検討委員

平成17年３月の策定から15年が経過した天然記念物ネコギギ保護管理指針を改定するため、検討委員会を開催した。

指導委員	森　誠一（岐阜協立大学経済学部教授） 渡辺勝敏（京都大学大学院理学研究科准教授） 田代　喬（名古屋大学減災連携研究センター特任教授） 中村圭吾（国立研究開発法人土木研究所水環境研究グループ　上席研究員）			
連絡会議	開催日	令和３年２月１８日	場所	※ネット会議（Zoom）で開催

８　三重県文化財保存活用大綱の策定

（１）経緯

三重県文化財保存活用大綱の策定作業は２ヶ年事業としており、令和２年度はその２年目（最終年）にあたる。本年度は、昨年度末に実施したパブリックコメントの集約と報告、大綱策定委員会による検討（最終案の提示）を実施した。令和２年７月９日の教育委員会定例会において策定（完成）となった。三重県文化財保存活用大綱策定委員会の構成委員は三重県文化財保護審議会委員とも重複するため、三重県文化財保護審議会条例第７条の規定による部会としても位置づけている。

策定（完成）後は、様々な機会を捉えての報告、概要版（リーフレット作成）による情報発信等を行い、大綱の周知に努めた。

なお、本年度の策定事業については、令和２年度地域文化財総合活用推進事業（文化財保存活用大綱作成）による国庫補助事業として実施した。

（２）委員会（部会）の構成

三重県文化財保存活用大綱策定委員会 （三重県文化財保存活用大綱策定部会）	岡野友彦（皇學館大学教授）担当：有形文化財　委員長（部会長） 櫻井治男（皇學館大学名誉教授）担当：民俗文化財 小澤　毅（三重大学教授）担当：史跡名勝・考古資料 森　誠一（岐阜協立大学大学院教授）担当：天然記念物

（３）委員会（部会）の開催状況

第４回	日時・場所	令和２年５月 18 日（月）９：00～12：００　三重県栄町庁舎　第 51 会議室
	内　容	○三重県文化財保存活用大綱（最終案）について

（４）事業経過等（令和２年度）

日　時	名　　称	内　　容	対　象　等
R2.4.17	パブリックコメント終了	中間案意見募集	県民
R2.5.18	第４回策定委員会	最終案検討	
R2.6.4	教育委員会定例会	最終案報告	教育委員会委員
R2.6.19	三重県議会（教育警察常任委員会）	最終案報告	県議会議員
R2.7.9	教育委員会定例会	議決	教育委員会委員

（５）国庫補助事業内容

補助事業の名称	補助事業の種類	事業の名称
令和２年度文化芸術振興費補助金 （地域文化財総合活用事業）	文化財保存活用大綱作成支援事業	三重県文化財保存活用大綱作成事業
事業費（国費、県費）　７７６，８８０円（国費６６７，０００、県費１０９，８８０）		

Ⅲ　文化財補助事業等

1　国庫補助事業

（1）建造物

事　業　者	（公財）諸戸財団	事　業　名	重文 諸戸家住宅主屋ほか５棟建造物保存修理		
所在市町	桑名市	総事業費	3,300,000,000	総事業期間	H22-R4
R2 度事業額	379,000,000	国補助額	322,150,000	県補助額	26,000,000
事業内容	主屋ほか５棟の解体・半解体工事。 R2 度：広間…建具工事、玉突場…左官工事、主屋…仮設工事・揚屋工事（降し・据付）・基礎工事・木工事・屋根工事・塗装工事・構造補強工事、主屋洋室…基礎工事、木工事、左官工事、表門…仮設工事・解体工事、レーダー探査、発掘調査				
備　　考	設計監理：（公財）文化財建造物保存技術協会、工事請負：松井建設（株）名古屋支店、経師工事：（株）松井春峰堂、タイル製作：（株）復元屋、レーダー探査：応用地質（株）東京営業所、発掘調査：（株）文化財サービス三重営業所				

事　業　者	宗教法人　猪田神社	事　業　名	重文 猪田神社本殿　防災施設整備（建造物）（防災施設等）		
所在市町	伊賀市	総事業費	55,390,000	総事業期間	R1-2
R2 度事業額	23,800,000	国補助額	20,230,000	県補助額	2,380,000
事業内容	消火設備工事（貯水槽・ポンプ室・自動首振放水銃・易操作性消火栓・機器類設置）、警報設備工事（自動火災報知設備、炎感知器）、倒木予防工事				
備　　考	設計監理：永田設計事務所、工事請負：ニッタン㈱中部支社				

事　業　者	宗教法人　高倉神社	事　業　名	重文 高倉神社本殿ほか２棟　防災施設整備（建造物）（防災施設等）		
所在市町	伊賀市	総事業費	36,360,000	総事業期間	R2-3
R2 度事業額	7,776,000	国補助額	6,220,000	県補助額	777,000
事業内容	消火設備工事（貯水槽点検補修・ポンプ更新・放水銃更新（自動首振）・消火栓更新（易操作性）・機器類設置）、警報設備工事（自動火災報知設備更新、炎感知器設置）、避雷針基礎補強工事				
備　　考	設計監理：永田設計事務所、工事請負：（株)扇港電機				

事　業　者	伊勢市	事　業　名	重文　旧賓日館本館ほか２棟　建造物保存修理（耐震診断）		
所在市町	伊勢市	総事業費	28,350,027	総事業期間	R1-2
R2 度事業額	11,122,000	国補助額	5,561,000	県補助額	723,000
事業内容	地盤調査（ボーリング・標準貫入試験）・構造図作成、耐震診断（構造調査・地盤増幅解析）、補強案策定				
備　　考	委員：菅原洋一（三重大学名誉教授）、藤田香織（東京大学大学院工学系研究科准教授）、高橋知奈津（奈良文化財研究所）　保存整備委員会：令和２年９月 14 日、12 月 21 日、委託：（株）文化財構造計画				

事　業　者	鳥羽市	事　業　名	登録 旧鳥羽小学校校舎建造物保存修理（登録有形文化財）		
総事業費	84,418,938	総事業期間	H26-R5		
R2 度事業額	5,221,700	国補助額	3,393,000	県補助額	―
事業内容	耐震補強工事				
備　　考	技術指導：（株）文化財構造計画、工事請負：有限会社尾崎建設				

事　業　者	個人	事　業　名	登録　長谷園主屋　美観向上整備事業		
総事業費	2,010,000	総事業期間	R2		
R2 度事業費	2,010,000	国補助額	1,306,000	県補助額	―
事業内容	主屋茅葺屋根の部分補修（差し茅）				
備　　考	工事請負：茅葺みやもん				

事　業　者	有限会社八千代	事　業　名	登録　八千代玄関棟　美観向上整備事業		
総事業費	2,319,900	総事業期間	R2		
R2 度事業費	2,319,900	国補助額	1,159,000	県補助額	―
事業内容	玄関棟１階の玄関まわり、廊下、階段まわりおよび２階廊下の土壁補修				
備　　考	工事請負：株式会社荻田建設				

事　業　者	有限会社　麻吉	事　業　名	登録　麻吉旅館聚遠楼ほか２件　美観向上整備事業		
総事業費	21,590,000	総事業期間	R2-R3		
R2 度事業費	11,793,784	国補助額	5,896,000	県補助額	―
事業内容	聚遠楼の屋根補修工事				
備　　考	技術指導（設計監理）：高橋徹都市建設設計工房、工事請負：株式会社廣垣工務店				

（２）美術工芸品

事　業　者	宗教法人 専修寺	事　業　名	重文 専修寺聖教　美術工芸品保存修理		
所在市町	津市	総事業費	54,789,000	総事業期間	H21-R5
R2 度事業額	3,582,038	国補助額	2,328,000	県補助額	358,000
事業内容	専修寺聖教 82 点のうち、「唯信鈔文意」「一念多念文意」「唯信鈔託宣記」「善性本御消息集」「浄土真宗聞書」「疎頌抄出」「後世後聞書」７点の修理（令和元年度・令和２年度の２か年計画）				
備　　考	委託：（株）松鶴堂				

事　業　者	松阪市	事　業　名	重文 松浦武四郎関係資料　美術工芸品保存修理		
総事業費	36,070,000	総事業期間	H25-R5		
R2 度事業額	2,660,000	国補助額	1,330,000	県補助額	―
事業内容	松浦武四郎関係資料のうち「阿蘭陀船図」（掛幅装、１幅）・「渋団扇帖　一」（折本装、１帖）の修理				
備　　考	委託：（株）坂田墨珠堂				

（３）無形文化財

事　業　者	伊勢型紙技術保存会	事　業　名	重無 伊勢型紙　無形文化財（伝承）団体		
所在市町	鈴鹿市	総事業費	253,450,000	総事業期間	H5-
Ｒ２度事業額	11,570,000	国補助額	10,000,000	県補助額	700,000
事業内容	技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修講座、原材料（型地紙）や諸道具の確保を行い、技術の保存を図った。				

（４）民俗文化財

事　業　者	桑名石取祭保存会	事　業　名	重無民 桑名石取祭の祭車行事　民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	桑名市	総事業費	54,631,460	総事業期間	H24-
Ｒ２度事業額	5,420,750	国補助額	2,710,000	県補助額	542,000
事業内容	今中町本楽用天幕修理、寺町本楽用天幕修理、南魚町祭車破魔等修理、寿町祭車破魔鉄輪等新調（２カ年計画の初年度）				
備　　考	伝承部会委員：長谷川嘉和（同志社大学非常勤講師）、鬼頭秀明（中京大学講師）、 藤井健三（元京都市産業技術研究所繊維技術センター研究部長）、 山崎　剛（金沢美術工芸大学学長）、黒田大介（鈴鹿工業高等専門学校准教授）、 二宮義信（慶二級建築設計事務所） 保存伝承部会：令和２年７月 15 日、令和２年 12 月４日、令和３年２月 15 日 請負：株式会社 川島織物セルコン（今中町・寺町本楽用天幕）、有限会社八野大工（南魚町祭車）、 三輪建築（寿町祭車）				

事　業　者	上野文化美術保存会	事　業　名	重無民 上野天神祭のダンジリ行事　民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	伊賀市	総事業費	54,740,063	総事業期間	H28-
Ｒ２度事業額	3,780,023	国補助額	1,890,000	県補助額	378,000
事業内容	福居町楼車前水引幕復元新調（３ヵ年計画の２年度目）				
備　　考	審議会委員：長谷川嘉和（同志社大学非常勤講師）、久保智康（京都国立博物館名誉館員）、藤井健三（元京都市産業技術研究所繊維技術センター研究部長）、福田良彦（伊賀市文化財審議会委員）、 二宮義信（慶二級建築設計事務所） 審議会：令和２年７月２日、令和２年 10 月 13 日、令和３年２月９日 請負：株式会社龍村美術織物				

事　業　者	富田鯨船保存会連合会	事　業　名	重無民 鳥出神社の鯨船行事　民俗文化財伝承・活用等		
所 在 市 町	四日市市	総 事 業 費	7,350,055	総 事 業 期 間	R1-
R２度事業額	4,840,841	国 補 助 額	2,420,000	県　補　助　額	484,000
事 業 内 容	中島組神徳丸横幕の復元新調（２ヵ年計画の初年度）				
備　　考	指導委員：鬼頭秀明（四日市市文化財保護審議会委員）、久志本まどか（四日市市文化財保護審議会委員） 藤井健三（西陣織会館顧問）、野村史隆（元海の博物館職員）、 二宮義信（慶二級建築設計事務所）、山崎　剛（金沢美術工芸大学学長） 修理指導委員会：令和２年７月 21 日、令和３年３月 30 日 請負：百武打敷店				

事　業　者	志摩市	事　業　名	登有民　志摩半島の生産用具及び関連資料　民俗文化財伝承・活用等		
総 事 業 費	14,342,245	総 事 業 期 間	H30-R２		
R２度事業額	7,340,048	国 補 助 額	3,670,000	県　補　助　額	―
事 業 内 容	資料整備（写真撮影、実測図作成、聞き取り調査、資料カード作成等）、資料整備報告書の執筆及び印刷刊行（『志摩半島の生産用具及び関連資料 資料整備事業報告』）				
備　　考	指導委員：野村史隆（鳥羽市文化財専門員）、小島孝夫（成城大学教授）、 西城利夫（伊勢河崎商人館事務局長）、﨑川由美子（元志摩市歴史民俗資料館館長） 指導委員会：令和２年７月 13 日、令和２年 12 月 25 日				

（５）記念物

事　業　者	松阪市	事　業　名	史 松坂城跡　歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総 事 業 費	576,652,000	総 事 業 期 間	H26-R9		
R２度事業額	15,371,000	国 補 助 額	7,685,000	県　補　助　額	1,075,000
事 業 内 容	危険木・支障木伐採実施設計及び伐採、石垣測量調査、崩落危険箇所補強工事				
備　　考	委員：千田嘉博（奈良大学教授）、門暉代司（松阪市文化財保護審議委員）、 河北秀実（前三重県埋蔵文化財センター所長）、内田和伸（奈良文化財研究所）、 小澤毅（三重大学教授）、西形達明（関西地盤環境研究センター顧問） 整備検討委員会：令和２年 10 月 16 日 業務委託：(株)空間文化開発機構、松阪飯南森林組合、松山建設有限会社				

事　業　者	宗教法人　神宮	事　業　名	史　旧林崎文庫　歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総 事 業 費	142,232,000	総 事 業 期 間	R1-R4		
R２度事業額	19,572,000	国 補 助 額	11,743,000	県　補　助　額	―
事 業 内 容	土塀躯体補修・瓦葺直し工事、危険木・支障木伐採				
備　　考	委員：菅原洋一（三重大学名誉教授）、小澤毅（三重大学教授） 活用整備事業委員会：令和２年６月８日、令和３年２月 26 日 工事請負：（株）富士建設				

事　業　者	伊賀市	事　業　名	史 伊賀国庁跡　歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	102,296,000	総事業期間	R1-6		
R2 度事業額	10,000,000	国補助額	5,000,000	県補助額	700,000
事業内容	保存整備工事（造成・雨水排水工事）				
備　　考	委員：小澤毅（三重大学教授）、寺崎保広（奈良大学名誉教授）、高瀬要一（元奈良文化財研究所） 穂積裕昌（三重県埋蔵文化財センター）、上出通雄（府中地区住民自治協議会）、 田中栄一（坂之下区長） 整備検討委員会：令和３年１月２９日 業務委託：（株）乾建設				

事　業　者	四日市市	事　業　名	史 久留倍官衙遺跡　史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	216,435,000	総事業期間	H23-R2		
R２度事業額	25,263,000	国補助額	20,210,000	県補助額	1,768,000
事業内容	平成 22 年度先行取得した史跡地（18,303.26 ㎡）の経費償還				

事　業　者	鈴鹿市	事　業　名	史 伊勢国府跡　史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	52,862,000	総事業期間	R1-R2		
R２度事業額	21,593,000	国補助額	17,274,000	県補助額	1,511,000
事業内容	史跡指定範囲の公有地化				

事　業　者	明和町	事　業　名	史 斎宮跡　史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	10,841,591,000	総事業期間	S54-R14		
R2 度事業額	159,695,000	国補助額	127,756,000	県補助額	23,954,000
事業内容	史跡指定範囲の公有地化				

事　業　者	明和町	事　業　名	史 斎宮跡　史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	213,767	総事業期間	R1-10		
R２度事業額	608,000	国補助額	486,000	県補助額	91,000
事業内容	平成 30 年度に先行取得した史跡地（8,713 ㎡）の経費償還				

事　業　者	伊賀市	事　業　名	史 伊賀国庁跡　史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	68,625,000	総事業期間	H30-R7		
R2 度事業額	6,420,000	国補助額	5,136,000	県補助額	499,000
事業内容	史跡指定範囲の公有地化				

事　業　者	（公財）諸戸財団	事　業　名	名 諸戸氏庭園　歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
所在市町	桑名市	総事業費	704,985,000	総事業期間	H20-R6
R2 度事業額	32,538,000	国補助額	19,522,000	県　補　助　額	2,053,000
事業内容	実施設計及び設計監理業務、延段不陸調整工事、修復剪定整備工事、地割修復工事、祭車庫修復工事、煉瓦蔵跡石積調査				
備　　考	指導委員：尼﨑博正（京都造形芸術大学教授）、菅原洋一（三重大学名誉教授）、 麓和善（名古屋工業大学大学院教授）、花里利一（三重大学教授）、 髙橋知奈津（奈良文化財研究所） 指導委員会：令和２年 10 月 12 日、令和３年３月８日 業務委託：（株）環境事業計画研究所、（株）林廣伸建築事務所、（株）文化財サービス 工事請負：（株）三重造園、（株）廣垣工務店				

事　業　者	大台町	事　業　名	特天 カモシカ　天然記念物食害対策		
総事業費	916,153,000	総事業期間	S56-		
R２度事業額	5,368,000	国補助額	3,578,000	県　補　助　額	626,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。４カ所　柵総延長 1,747.5m				
備　　考	請負：宮川森林組合				

事　業　者	紀北町	事　業　名	特天 カモシカ　天然記念物食害対策		
総事業費	384,555,940	総事業期間	S58-		
R２度事業額	4,570,000	国補助額	3,046,000	県　補　助　額	533,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。１カ所　柵総延長 1,505m				
備　　考	請負：森林組合おわせ				

事　業　者	いなべ市	事　業　名	天 ネコギギ　天然記念物再生		
総事業費	34,665,500	総事業期間	H18-		
R２度事業額	2,200,049	国補助額	1,100,000	県　補　助　額	154,000
事業内容	員弁川水系のネコギギ個体群再生のため、生息状況調査ならびに保護増殖を行う。R２度は市内の生息環境調査、保護増殖・飼育、再導入可能場所選定及び再導入を行った。				
備　　考	指導委員：森誠一（岐阜経済大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授）、 田代喬（名古屋大学准教授）、里中知之（志摩マリンランド館長） 指導委員会：令和２年６月 29 日、令和２年 11 月 19 日、令和３年３月２日 飼育増殖委託：志摩マリンランド、滋賀県立琵琶湖博物館				

事　業　者	亀山市	事　業　名	天 ネコギギ　天然記念物再生		
総事業費	14,732,545	総事業期間	H27-R6		
R２度事業額	2,256,941	国補助額	1,100,000	県補助額	154,000
事業内容	鈴鹿川水系のネコギギ生息状況把握を続けながら、地域住民への普及啓発を行い、生息環境の再生につなげる。R２度は鈴鹿川水系のモニタリング及び河川環境調査と、保護増殖・飼育及び再放流を行った。				
備　　考	指導委員：森誠一（岐阜経済大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授） 北村淳一（三重県総合博物館）、川北要始補（亀山市文化財保護審議会委員） 指導委員会：新型コロナ感染症の影響で開催されなかった。 生息調査委託：環境科学大阪株式会社 河川環境調査委託：環境科学大阪株式会社				

事　業　者	名張市	事　業　名	特天　オオサンショウウオ　天然記念物緊急調査		
総事業費	33,861,061	総事業期間	H25-R4		
R２度事業額	2,179,252	国補助額	1,089,000	県補助額	152,000
事業内容	赤目の峡谷とその周辺において、オオサンショウウオの生息調査と DNA サンプリング調査を行った。また保護池で交雑種と確認された個体の一時飼育を行った。				
備　　考	指導委員：松井正文（京都大学大学院教授）、清水善吉（三重県文化財保護指導委員）、 岡田純（日本ハンザキ研究所長）、江川紫（日本サンショウウオセンター職員）、 松月茂明（元日本オオサンショウウオセンター学芸員） 指導委員会：令和２年 10 月 21 日、令和３年２月１６日 生息調査・保護飼育委託：三重自然誌の会、NPO 法人　赤目四十八滝渓谷保勝会 名張市文化遺産活性化実行委員会				

事　業　者	菰野町	事　業　名	天　田光のシデコブシ及び湿地植物群落　天然記念物緊急調査		
総事業費	7,594,000	総事業期間	R1-R3		
R２度事業額	3,797,000	国補助額	1,878,000	県補助額	―
事業内容	指定地内のシデコブシ及び湿地植物群落等の現状把握を目的に現地調査を行った。				
備　　考	業務委託：パシフィックコンサルタンツ株式会社　三重事務所				

（６）埋蔵文化財

事　業　者	鈴鹿市	事　業　名	市内遺跡　発掘調査等		
総事業費	195,352,000	総事業期間	H24-R8		
R２度事業額	12,892,000	国補助額	6,446,000	県補助額	1,504,000
事業内容	長者屋敷遺跡第 40 次発掘調査、磐城山遺跡第 13-2・14 次発掘調査ほか：計４件、市内遺跡の確認調査：28 件、伊勢国府跡 23 報告書作成・刊行、富士山１号墳現況測量、木器保存処理、自然科学分析				
備　　考	指導委員：小澤　毅（三重大学教授）、石田由紀子（奈良文化財研究所主任研究員）、金田章裕（京都大学名誉教授）、渡辺　寛（皇學館大学名誉教授）、和田勝彦（文化財虫菌害研究所常務理事） 委託：富士山１号墳現況測量業務委託：株式会社文化財サービス、木器保存処理業務委託：一般社団法人文化財科学研究センター、自然科学分析委託：株式会社パレオ・ラボ				

事　業　者	亀山市	事　業　名	市内遺跡　発掘調査等		
総事業費	33,321,003	総事業期間	H27-R10		
R２度事業額	3,355,003	国補助額	1,429,000	県補助額	―
事業内容	市内遺跡の確認調査、鈴鹿関跡現況地形測量				
備　　考	指導委員：小澤　毅（三重大学教授）、舘野和己（奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所　古代学・聖地学研究センター特任教授）、門井直哉（福井大学教育学部教授）、木﨑嘉秋（亀山市文化財保護審議会委員） 鈴鹿関跡現況測量業務委託：株式会社イビソク				

事　業　者	松阪市	事　業　名	史　市内遺跡　発掘調査等		
総事業費	96,600,000	総事業期間	H12-R8		
R２度事業額	2,632,000	国補助額	1,316,000	県補助額	307,000
事業内容	市内重要遺跡の確認調査（12 件）、南山遺跡出土金属製遺物 3 点の保存処理				
備　　考	保存処理業務委託：一般財団法人大阪市文化財協会				

事　業　者	明和町	事　業　名	史　町内遺跡　発掘調査等		
総事業費	196,762,590	総事業期間	S54-R6		
R２度事業額	2,200,590	国補助額	1,076,000	県補助額	251,000
事業内容	町内遺跡の確認調査（6 件）、史跡斎宮跡令和元年度現状変更緊急発掘調査報告刊行				
備　　考					

事　業　者	志摩市	事　業　名	市内遺跡　発掘調査等		
総事業費	45,602,671	総事業期間	H22-R5		
R２度事業額	2,499,671	国補助額	1,246,000	県補助額	290,000
事業内容	泊古墳・鳶ヶ巣１号墳発掘調査、市内遺跡の確認調査（5 件）、出土遺物 19 点の保存処理				
備　　考	保存処理業務委託：株式会社吉田生物研究所				

（７）重要伝統的建造物群保存地区

事　業　者	亀山市	事　業　名	重伝建 亀山市関宿　伝統的建造物群基盤強化		
総事業費	1,356,005,000	総事業期間	S60-		
R2 度事業額	36,608,756	国補助額	18,303,000	県補助額	2,562,000
事業内容	伝建地区内の建物修理３件・修景３件に関する設計・監理、及び間接補助				
備　　考	設計監理委託：田上設計、中浦建築事務所、デザインファクトリープラグ、コバリ建築設計、（株）ARTS				

（８）指定文化財管理事業による間接補助

事　業　者	個人	事　業　名	重文 町井家住宅主屋・書院　防災設備保守点検		
所在市町	伊賀市	総事業費	213,400	総事業期間	H27-R6
R2 度事業額	213,400	国補助額	37,000	県補助額	37,000
事業内容	防災設備（自動火災報知器、消火栓、避雷針等）の保守点検				
備　　考	点検業者：ニッタン㈱中部支社				

事　業　者	宗教法人　慈恩寺	事　業　名	重文　木造阿弥陀如来立像　防災設備保守点検		
所在市町	亀山市	総事業費	54,300	総事業期間	H28-R7
R2 度事業額	54,300	国補助額	13,000	県補助額	14,000
事業内容	防災設備（自動火災報知器、消火設備（加圧式））の保守点検				
備　　考	施工業者：総合防災ナカテック、（有）大森電気工業所				

事　業　者	合同会社　苗秀社	事　業　名	重文 旧松坂御城番長屋　小修理		
所在市町	松阪市	総事業費	458,590	総事業期間	R2
R2 度事業額	458,590	国補助額	65,000	県補助額	64,000
事業内容	東棟、西棟の外壁及び破風の木部に保護塗装を実施。				
備　　考	施工業者：伊藤建設（株）				

２　県費補助事業

（１）建造物

事　業　者	宗教法人　杉谷神社	事　業　名	県有　杉谷神社本殿　保存修理		
所在市町	名張市	総事業費	11,944,800	総事業期間	R1-4
R2 度事業額	2,871,264	国補助額	－	県補助額	1,435,000
事業内容	向拝・背面・内陣の彩色調査・トレース・顔料科学分析				
備　　考	彩色調査：（有）彩色設計				

事　業　者	宗教法人　杉谷神社	事　業　名	県有　杉谷神社本殿　防犯設備		
所在市町	名張市	総事業費	785,400	総事業期間	R2
R2 度事業額	784,400	国補助額	－	県補助額	392,000
事業内容	防犯カメラとモニターの設置				
備　　考	機材購入：セコム三重（株）、工事請負：（合）三和ブロック				

事　業　者	宗教法人 春日神社	事　業　名	県有　春日神社拝殿　保存修理		
所 在 市 町	伊賀市	総 事 業 費	266,508,296	総 事 業 期 間	H28-R4
R2 度事業額	43,580,000	国 補 助 額	–	県 補 助 額	21,790,000
事 業 内 容	基礎（地工式アンカー設置）、建て方開始、耐震補強金具作成・設置				
備　　考	指導委員：菅原洋一（三重大学名誉教授）、黒田龍二（神戸大学名誉教授）、花里利一（三重大学教授） 修理指導委員会：令和 2 年 8 月 6 日 設計監理：（株）継承社、工事請負：（株）奥谷組				

（2）記念物

事　業　者	宗教法人 伊奈冨神社	事　業　名	名　伊奈冨神社庭園　保存修理		
所 在 市 町	鈴鹿市	総 事 業 費	7,366,000	総 事 業 期 間	H27-R4
R 2 度事業額	1,000,000	国 補 助 額	–	県 補 助 額	500,000
事 業 内 容	庭園内の池及び島の修復を行った。				
備　　考	指導委員：中島義晴（奈良文化財研究所）、中村昌幸（樹木医）、衣斐弘行（鈴鹿市文化財調査会） 指導委員会：令和 2 年 10 月 19 日、令和 3 年 2 月 24 日 工事請負：木楽 Nakamura				

事　業　者	玉城町	事　業　名	史　田丸城跡　保存修理		
所 在 市 町	玉城町	総 事 業 費	115,924,000	総 事 業 期 間	H29-R5
R2 度事業額	15,715,000	国 補 助 額	–	県 補 助 額	5,500,000
事 業 内 容	崩落石撤去工事、石垣修復工事実施設計業務				
備　　考	指導委員：菅原洋一（三重大学名誉教授）、小澤毅（三重大学教授）、岩﨑澄雄（郷土史）、 北垣聰一郎（金沢城調査研究所名誉所長）、千田嘉博（奈良大学教授） 指導委員会：令和 2 年 12 月 24 日、令和 3 年 1 月 21 日 工事請負：中村石材工業(株)（崩落石撤去）				

3　文化資源活用事業費補助金

（1）多言語解説整備事業

事　業　者	宗教法人専修寺	事　業　名	真宗高田派本山専修寺多言語解説整備事業		
所在市町	津市	総事業費	5,358,365	総事業期間	R2
R2 度事業額	22,000,000	国補助額	17,160,000	県補助額	―
事業内容	Web サイトを多言語化するとともに、境内に所在する 13 の建造物（国宝・重要文化財）と美術工芸品 2点について、QR コードによる呼び出し技術を用いた多言語解説文の整備を行った。文化財の興味関心をひく PR 動画を、ドローン技術を用いて製作し、WEB で閲覧できるコンテンツを作成した。				
備　考	委託：株式会社アド近鉄中部支社				

4　文化芸術振興費補助金

（1）地域文化財総合活用推進事業

事　業　者	三重県建築士会	事　業　名	三重県文化財総合活性化事業		
所在市町	–	総事業費	7,853,699	総事業期間	H28-R2
R2 度事業額	2,495,334	国補助額	2,450,000	県補助額	―
事業内容	同補助事業により三重県建築士会が H28-30 年度に作成した、県内の登録有形文化財（建造物）のトレーディングカードの周知のため、同カードのデータを利用して登録有形文化財を紹介したパネル展を、6 会場（桑名市・津市・伊勢市・尾鷲市・熊野市・伊賀市）で開催。周知用のポスターと配布用のパンフレットも作成。				
備　考	三重県が策定した「三県文化遺産総合活性化事業」実施計画に基づき、三重県建築士会が事業を実施。				

5　民間団体による助成

民間団体による文化財保護助成事業として、市町の推薦を受けた文化財保護事業について推薦を行い、下記の団体が助成を受けた。

助成団体	助成先	所在市町	助成額	事業内容
（公財）文化財保護・芸術研究助成財団	春日神社	伊賀市	350,000	春日神社拝殿保存修理事業
（一財）沖永文化振興財団	棚橋区	度会町	200,000	用具整備事業（獅子頭）

Ⅳ　文化財の管理・普及

1　登録審査

（1）銃砲刀剣類

審 査 日：令和２年５月19日、７月21日、９月15日、11月17日、令和３年２月16日
実施場所：県津庁舎会議室（津市桜橋）
審査委員：
早川繁一（日本美術刀剣保存協会三重県支部長）
福井款彦（日本美術刀剣保存協会三重県支部副支部長）
東世古晃弘（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
小川保生（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
中西　勤（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
山中敬輔（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）

	刀剣類	銃砲類	合計
新規登録数	195 件	24 件	219 件
登録証再交付数	21 件	1 件	22 件
製作承認件数	0 件	―	0 件
所有者変更数	709 件	48 件	757 件
登録証返納数（輸出返納含む）	68 件	1 件	69 件

（2）天然記念物　紀州犬

審 査 日：令和２年 11 月８日　　実施場所：三重県埋蔵文化センター嬉野分室（松阪市嬉野）
審 査 員：尾上紀彦（社団法人日本犬保存会審査員・同三重県支部支部長）
木村二三利（社団法人日本犬保存会審査員・同三重県支部顧問）
森本鉄男（社団法人日本犬保存会審査補助員・同三重支部会員）

登録番号	犬名	性別	登録日	所有者住所
843	根来乃凪咲	雌	R2.11.30	津市
844	穂の華	雌	R2.11.30	津市
845	健太	雄	R2.11.30	津市
846	熊野乃万仙	雌	R2.11.30	御浜町

（3）天然記念物　日本鶏

審査日：令和２年 11 月１日　　実施場所：三重県埋蔵文化センター嬉野分室（松阪市嬉野）
審査員：
冨田靖男（元三重県立博物館長）
西川祥一（日本家禽会三重県支部長、
天然記念物三重県五鶏保存会会長）
佐々木健二（三重県農林水産部畜産課）

登録番号	鶏　種	内　種	性別	登録日	所有者住所
1019	地鶏	白色種	番	R3.2.1	度会郡玉城町
1020	小国鶏	五色種	番	R3.2.1	度会郡玉城町
1021	地鶏	猩々種	番	R3.2.1	津市
1022	小国鶏	白色種	番	R3.2.1	津市
1023	烏骨鶏	白色種	雌	R3.2.1	津市

2　文化財の管理

（1）文化財保護にかかる会議

①　三重県文化財保護連絡会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者との打ち合わせ及び協議を実施した。

回	日時	開催場所	内容
第１回	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	―	令和２年度文化財保護事業の概要、指定文化財に関する手続き等について資料のみ配布
第２回	11 月５日（木）　9:30～12:00	三重県総合博物館	事業の現状と課題、文化財保存活用大綱・文化財地域計画の作成について等

② 三重県文化財保護指導委員会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者、三重県文化財保護指導委員との打ち合わせ及び協議を実施した。また、三重県文化財保存活用大綱に基づき、文化財レスキューの研修を実施した。

地区	日時	開催場所	内容
北勢・中勢・南勢・志摩・伊賀	9月17日（木）13:30～15:30	県津庁舎	令和元年度文化財保護事業の概要、指定文化財に関する事務手続き等、文化財パトロールの実施、文化財レスキューの研修
尾鷲・熊野	9月18日（金）13:30～15:30	県尾鷲庁舎	

③ オオサンショウウオ保護連絡会議

オオサンショウウオの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有するため、会議を開催した。

日　　時	令和３年２月２４日（水）13:30～17:00	場　　所	名張市防災センター
講　　演	＊新型コロナウイルスの影響により中止		
報告事項	○オオサンショウウオ保全対策について 三重県伊賀建設事務所、伊賀市、独立行政法人水資源機構川上ダム建設所、 国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所、国土交通省近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所 ○オオサンショウウオ緊急調査について 名張市教育委員会		
助　言　者	清水善吉（三重自然誌の会事務局）松月茂明（元日本サンショウウオセンター学芸員） 冨田靖男（※　元三重県立博物館長）佐藤孝則（※　天理大学おやさと研究所 教授） ※新型コロナ感染症予防のため欠席		

④ ネコギギ保護連絡会議

ネコギギの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報共有を行うため、会議を開催した。

日　　時	令和３年３月１５日（月）13:30～17:00	場　　所	三重県四日市庁舎本館６階大会議室
講　　演	＊新型コロナウイルスの影響により中止		
事例報告	○河川工事等におけるネコギギ保全対策について 伊勢建設事務所、松阪建設事務所、津建設事務所、三重県伊勢農林水産事務所、亀山市 ○ネコギギ天然記念物再生事業について いなべ市教育委員会事務局　生涯学習課 亀山市生活文化部文化スポーツ課まちなみ文化財グループ		
助　言　者	森誠一（岐阜経済大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授）、 田代喬（名古屋大学減災連携研究センター准教授）		

⑤ オオダイガハラサンショウウオ学習会

オオダイガハラサンショウウオの保護について関係者の理解を深めるため、三重森林管理署、三重県農林水産部、三重県で協働して、学習会を開催した。

日　　時	令和２年７月１７日(金)12:30～14:30	場　　所	大杉谷国有林千尋峠（多気郡大台町大杉）
内　　容	オオダイガハラサンショウウオの生態について調査するとともに、幼生個体の現地視察を実施した。		

（2）文化財パトロール

県内における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員（50 名）を任命して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は、随時、社会教育・文化財保護課に行われ、当課では写しを当該市町教育委員会に送付し、行政対応を行っている。

担当地区	保護指導委員名	担当分野	市町名	実施件数
県内全域	大城哲也	建造物		
	清水善吉・山野直也・中野環	天然記念物		
北勢	蒔田英彦・久安典之・中浦豊子	建造物	桑名市	4
			いなべ市	0
			木曽岬町	0
	松本覚・渡辺尚登・浅尾悟	埋蔵文化財	東員町	0
			四日市市	4
			菰野町	2
			朝日町	1
	市川正人・桐生定巳	天然記念物	川越町	0
			鈴鹿市	7
			亀山市	7
中勢	大森尚子・宮本公夫	建造物	津市	12
	瀧川和也・藤田直信	彫刻	松阪市	7
	浅生悦生・林和範・木野本和之・西田尚史・増田安生・奥義次・縣拓也	埋蔵文化財	多気町	2
			明和町	0
	西川浩之・藤原良幸・高松隆吉	天然記念物	大台町	3
南勢	松月久和・東原達也	建造物	伊勢市	3
	藤田直信	彫刻	鳥羽市	7
	奥義次・縣拓也・村上喜雄・山本達也・北畠充生	埋蔵文化財	玉城町	0
			度会町	3
			南伊勢町	0
	藤原良幸	天然記念物	大紀町	7
			志摩市	0
伊賀	滝井利彰・岩見勝由	建造物	伊賀市	19
	仁保晋作・大花健生・谷戸実	埋蔵文化財	名張市	6
	杉澤学	天然記念物		
東紀州	宮原良雄	建造物	尾鷲市	19
	福村直昭	建造物・彫刻	紀北町	41
	家崎彰・福村直人	埋蔵文化財	熊野市	58
	山本和彦・更屋好年	天然記念物	御浜町	12
	高須清教・中野順一・植松元夫・東公夫・清水鎮一・向井弘晏・西山光雄	熊野参詣道	紀宝町	1

（３）発掘調査届等

	92条	93条														94条												99条	合計
		道路	住宅	個人住宅	工場	店舗	住宅兼工場・店舗	その他建物	宅地造成	公園造成	ガス・電気・水道等	土砂採取	農業関係	その他開発	計	道路	河川	港湾・ダム	学校	住居	その他建物	公園造成	ガス・電気・水道等	農業基盤・農業関係	その他開発	遺跡整備	計		
木曽岬町	0														0												0	0	0
いなべ市	0		1	7				5			17			15	45								1				1	0	46
東員町	0			1	1										2												0	0	2
桑名市	0		8	31				6	2		36			5	88		1						9		1		11	3	102
川越町	0														0												0	0	0
朝日町	0							1			4				5												0	0	5
菰野町	0										1				1												0	0	1
四日市市	0		13	51				7	6		19			13	109	7					3		9				19	2	130
鈴鹿市	0		7	55		1		6	7		38		4	31	149	4	3						7		2		16	8	173
亀山市	0			50		2		2	3		32	1		24	114						1		5				6	0	120
津市	0		4	66		2		13	8		65			51	209	18			1				47	1	3		70	1	280
松阪市	0		1	94		2		6	5		105		1	22	236								4		5		9	1	246
明和町	0		4	19		1			5					3	32	1											1	9	42
多気町	0										4			7	11												0	0	11
玉城町	0		1	7					5		10				23	1											1	0	24
大台町	0										1			1	2						1						1	0	3
度会町	0			3				1			4			2	10												0	0	10
伊勢市	0			27			1				20	1		1	50						1						1	0	51
鳥羽市	0													1	1												0	0	1
志摩市	0	1		12		1		11			23			19	67	8							4		1		13	3	83
南伊勢町	0														0												0	0	0
大紀町	0							2			5			4	11						1						1	0	12
紀北町	0														0												0	0	0
尾鷲市	0														0												0	0	0
熊野市	0							3						4	7												0	0	7
御浜町	0														0												0	0	0
紀宝町	0							1			7				8								2				2	0	10
伊賀市	0		1	6	1	1		3	2					11	25	1			1		1		1				4	2	31
名張市	0			2				1			3			4	10												0	1	11
三重県	0														0	10	3	1	4		5			13	8		44	7	51
国・大学	0														0												0	0	0
計	0	1	40	431	2	10	1	68	43	0	394	2	5	218	1215	50	7	1	6	0	13	0	89	14	20	0	200	37	1452

（４）埋蔵文化財の発見

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	通知
弥生土器、土師器、須恵器、陶器、緑釉陶器、青磁、磁器、瓦、土製品、石製品、鉄製品、銅製品	73	多気郡明和町竹川字中垣内 420、423-1、424-1、427-1	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R2.3.31	R2.4.8
弥生土器、土師器、陶質土器、須恵器、灰釉陶器、山茶椀	16	鈴鹿市岸岡町五の坪、七の坪、高田	金沢川遺跡	三重県	鈴鹿市長 三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R2.4.15	R2.4.21
弥生土器、土師器、須恵器、山茶椀、木製品	79	鈴鹿市柳町中島	中島遺跡	三重県	鈴鹿市長 三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R2.4.15	R2.4.21
土師器、須恵器、弥生土器、山茶椀	23	鈴鹿市東玉垣町	深田遺跡	三重県	鈴鹿市長 三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R2.4.20	R2.4.30
土師器、須恵器	3	松阪市嬉野中川町西野田	西野田遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R2.5.15	R2.5.18
土師器、須恵器	1	多気郡明和町竹川字祓戸 700,703,704	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R2.5.14	R2.5.19
土師器、須恵器、陶器、磁器、石製品、鉄製品	1	多気郡明和町大字斎宮字牛葉 572-3、574-2	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R2.6.4	R2.6.9
弥生土器、土師器、陶器	18	鈴鹿市岸岡町・柳町	双ツ塚遺跡	三重県	鈴鹿市長 三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R2.6.22	R2.6.22
土師器、陶磁器、瓦	7	松阪市六軒町字六見	市場庄遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R2.6.30	R2.6.30
縄文土器、土師器、山茶椀、石器	17	津市白山町二本木	岡遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R2.8.11	R2.8.14
縄文土器、石器	14	いなべ市北勢町塩崎字空畑地内	空畑遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R2.8.31	R2.9.4
土師器、山茶椀	1	伊勢市上地町字於城郷	粟野北遺跡	三重県	伊勢市長	三重県埋蔵文化財センター	R2.11.2	R2.11.2
土師器、須恵器、灰釉陶器、陶器、磁器、土製品	3	多気郡明和町大字斎宮字楽殿２８８９－２	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R2.10.28	R2.11.4
土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、山茶碗	40	鈴鹿市徳田町字戸関	戸関遺跡	三重県	鈴鹿市長 三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R2.11.9	R2.11.9
土師器、須恵器、灰釉陶器、陶器、磁器、土製品、瓦	6	多気郡明和町大字竹川字南裏 245-1,245-4,245-5,245-6,246-1,247,247-3,247-5	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	R2.11.4	R2.11.11
須恵器、陶器、磁器	1	熊野市井戸町	岡地遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R2.11.12	R2.11.12
土師器、須恵器、灰釉陶器、中世陶器	6	多気郡明和町大字斎宮字古里 3259-3	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R2.11.10	R2.11.13
磁器	1	亀山市加太北在家	川俣城跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R2.11.19	R2.11.19
土師器、陶器、石鏃等	3	いなべ市北勢町田辺字北山地内	田辺城跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R2.12.15	R2.12.15
土師器	1	度会郡玉城町宮古字明豆	明豆遺跡	三重県	玉城町長	三重県埋蔵文化財センター	R3.1.6	R3.1.6

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	通知
土師器	1	多気郡明和町有爾中	大林Ｂ遺跡	三重県	明和町長	三重県埋蔵文化財センター	R3.1.12	R3.1.12
土師器、灰釉陶器、中世陶器、近世陶磁器、石製品	3	多気郡明和町大字斎宮字牛葉572-1、572-6	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R3.1.8	R3.1.14
弥生土器、石器	11	いなべ市北勢町下平字大野地内	下平大野Ｂ遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R3.1.15	R3.1.15
縄文土器、土師器、須恵器、陶器、磁器、瓦、金属製品等	53	南牟婁郡紀宝町鵜殿	鵜殿西遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R3.1.22	R3.1.22
土師器	1	多気郡明和町大字竹川字祓戸709-4、710-5	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	R3.2.4	R3.2.8
縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、青磁、陶硯、中世陶器、近世陶磁、瓦、土製品、石製品、鉄製品、銭貨	27	多気郡明和町竹川字中垣内426、476、476-1	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R3.2.15	R3.2.17
土師器、須恵器、硯、木鋤	34	鈴鹿市岸岡町地内	金沢川遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R3.2.18	R3.2.18
土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、黒色土器、陶器、磁器	7	多気郡明和町大字斎宮字牛葉96-3、100-1、100-2	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R3.2.17	R3.2.24
縄文土器、土師器、灰釉陶器、陶器、埴輪	1	多気郡明和町大字斎宮字塚山3276-23、3276-25、3276-27	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	R3.2.17	R3.2.24
土師器、須恵器	3	多気郡明和町有爾中字長五郎林	長五郎林Ｂ遺跡	三重県	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター	R3.3.15	R3.3.17
陶器	1	津市芸濃町小野平449	伝仙幢寺跡	三重県	個人	三重県埋蔵文化財センター	R3.3.23	R3.3.23
土師器、須恵器、陶器、緑釉陶器	1	多気郡明和町斎宮字西加座、東加座、東前沖地内	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	R3.3.25	R3.3.30

（５）埋蔵物の文化財認定

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
横谷遺跡出土遺物 土師器・石器など	1	四日市市西坂部町字落川原3173-1、3155、3157-1	横谷遺跡	四日市市教育長	個人	四日市市教育委員会　社会教育・文化財課　文化財整理作業所	R2.4.8	R2.4.16	三重県教育委員会
磐城山遺跡第１３次出土遺物 弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶磁器、石器	27	三重県鈴鹿市木田字上條２２８５番１	磐城山遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R2.3.31	R2.4.22	三重県教育委員会
須賀遺跡 第１２次出土遺物 弥生土器、土師器、須恵器、埴輪、瓦、近世陶器	9	三重県鈴鹿市須賀二丁目１７６７番、１７６８番３・４	須賀遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R2.3.31	R2.4.22	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
伊奈冨神社遺跡（県名勝伊奈冨神社庭園） ２０１９年度 池岸範囲確認調査・庭園修復工事立会調査 出土遺物　常滑・近世瓦・近代瓦・木片	1	三重県鈴鹿市稲生西二丁目９２７５ほか	伊奈冨神社遺跡（県名勝伊奈冨神社庭園）	鈴鹿市長	宗教法人伊奈冨神社	鈴鹿市考古博物館	R2.3.27	R2.5.8	三重県教育委員会
泊古墳発掘調査出土遺物 土器・石器・金属器・ガラス玉	7	三重県志摩市大王町畔名28	泊古墳	志摩市教育委員会教育長	個人	志摩市教育委員会生涯学習スポーツ課	R2.3.31	R2.5.19	三重県教育委員会
馬ノ瀬遺跡出土遺物 須恵器片、土師器片等	1	三重県松阪市嬉野天花寺町	馬ノ瀬遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会（松阪市文化財センター嬉野整理所）	R2.4.21	R2.5.19	三重県教育委員会
清水谷遺跡出土遺物 須恵器片、土師器片、埴輪片　等	3	三重県松阪市嬉野天花寺町	清水谷遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会（松阪市文化財センター嬉野整理所）	R2.4.21	R2.5.19	三重県教育委員会
松坂城跡出土遺物 瓦片・土師器細片・陶磁器細片・ガラス細片　等	15	三重県松阪市殿町	松坂城跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会（松阪市文化財センター嬉野整理所）	R2.4.21	R2.5.19	三重県教育委員会
中世古遺跡出土遺物 弥生土器片、土師器片、須恵器片、中世土器片、陶磁器片等	49	三重県松阪市田原町	中世古遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会（松阪市文化財センター嬉野整理所）	R2.4.21	R2.5.19	三重県教育委員会
小野江・甚目遺跡出土遺物 土師器片	1	三重県松阪市小野江町	小野江・甚目遺跡	松阪市教育委員会教育長	松阪市長	松阪市教育委員会（松阪市文化財センター嬉野整理所）	R2.4.21	R2.5.19	三重県教育委員会
こうじ垣内遺跡出土遺物 山茶碗、土師器片（甕、鍋、皿、高坏脚部）、砥石　等	22	三重県松阪市駅部田町	こうじ垣内遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会（松阪市文化財センター嬉野整理所）	R2.4.21	R2.5.19	三重県教育委員会
（仮称）長谷古墳隣接地遺跡出土遺物 須恵器片	1	三重県松阪市山添町	（仮称）長谷古墳隣接地遺跡	松阪市教育委員会教育長	松阪興産株式会社	松阪市教育委員会（松阪市文化財センター嬉野整理所）	R2.4.21	R2.5.19	三重県教育委員会
八重垣神社遺跡範囲確認調査　出土遺物 土師器	1	鈴鹿市十宮町字里1318番1	八重垣神社遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R2.5.13	R2.5.28	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
高井Ａ遺跡（第３次）発掘調査　出土遺物　土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、土錘、瓦、製塩土器、木製品	83	鈴鹿市御薗町字郷堂 5303,5304,5305,5306 番	高井Ａ遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	R2.5.19	R2.5.28	三重県教育委員会
北野遺跡出土遺物　土師器片	1	多気郡明和町大字斎宮字大頭 910 番 1、911 番 2	北野遺跡	明和町長	個人	明和町斎宮跡・文化観光課	R2.5.12	R2.5.28	三重県教育委員会
本郷遺跡出土遺物　土師器片	1	多気郡明和町大字明星字櫻出 858-3	本郷遺跡	明和町長	個人	明和町斎宮跡・文化観光課	R2.5.12	R2.5.28	三重県教育委員会
城堀遺跡出土遺物　土師器・須恵器片	3	多気郡明和町大字上村字城堀 1309-1 外１筆	城堀遺跡	明和町長	有限会社ホームタウン	明和町斎宮跡・文化観光課	R2.5.12	R2.5.28	三重県教育委員会
坂本古墳群出土遺物　土師器、須恵器	15	多気郡明和町大字坂本字粟垣外 1167-8 外２筆	坂本古墳群	明和町長	多気郡農業協同組合	明和町斎宮跡・文化観光課	R2.5.12	R2.5.28	三重県教育委員会
岡田南遺跡　範囲確認調査　出土遺物　縄文土器，弥生土器	1	鈴鹿市岡田三丁目 208 番１	岡田南遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R2.5.28	R2.6.23	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶器	1	三重県桑名市船馬町 20 番１地先	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.6.15	R2.6.23	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物　瓦、陶磁器、土師器	2	三重県桑名市吉之丸５－１番地先	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.6.15	R2.6.23	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　磁器	1	三重県桑名市内堀７０番地先	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.6.15	R2.6.23	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　磁器、陶器	1	三重県桑名市江戸町 21	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	株式会社諸戸ホールディングス	桑名市教育委員会	R2.6.15	R2.6.23	三重県教育委員会
川向山添遺跡出土遺物　土師器・須恵器・陶器・石製品など	2	三重県四日市市西坂部町字山添 2355-1、2355-2、2356-1、2356-3、2365	川向山添遺跡	四日市市教育長	中部電力株式会社国土交通省	四日市市教育委員会　社会教育・文化財課　文化財整理作業所	R2.6.19	R2.6.30	三重県教育委員会
恵利原遺跡発掘調査出土遺物　土器	1	三重県志摩市磯部町恵利原字脇ノ田 1471-1、1471-2、垣外崎 1475-1	恵利原遺跡	志摩市教育委員会教育長	個人	志摩市教育委員会生涯学習スポーツ課	R2.7.1	R2.7.15	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
銅銭、山茶碗片、手捏小碗、天目茶碗片、陶器将棋駒「王将」、土師器鍋片、土師器皿、鉄釘、土師器器台脚部片、鉄釉擂鉢片、白釉小壺、軒平瓦片、染付蓋・皿、白磁酒杯、緑色釉陶器急須	2	三重県伊勢市宇治中之切町４６	なし	皇學館大学学長	株式会社百五銀行	皇學館大学	R2.3.20～3.29	R2.7.13	三重県教育委員会
磐城山遺跡第 13-2 次出土遺物 弥生土器、土師器、須恵器、砥石、石製模造品	2	三重県鈴鹿市木田字上條 2285 番１	磐城山遺跡第 13-2 次	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R2.7.6	R2.7.29	三重県教育委員会
森添遺跡出土遺物 土器、土製品、石器、石製品	977	三重県度会郡度会町上久具字高山 44-2 他 30 筆	森添遺跡	度会町教育委員会教育長	度会町長	度会町ふるさと歴史館	S62.11.7	R2.9.8	三重県教育委員会
鈴鹿関跡出土遺物 丸瓦、平瓦、土器等	44	亀山市関町新所地内	鈴鹿関跡	亀山市教育委員会教育長	亀山市長	亀山市教育委員会	R2.9.11	R2.9.28	三重県教育委員会
ゆふけ遺跡（Ｒ２－１次）出土遺物　山茶碗	1	三重県津市安濃町連部 125 番４	ゆふけ遺跡（Ｒ２－１次）	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	R2.10.12	R2.10.15	三重県教育委員会
立神遺跡発掘調査出土遺物 土器・石器・古銭・貝殻	1	三重県志摩市阿児町立神 2837	立神遺跡	志摩市教育委員会教育長	個人	志摩市教育委員会生涯学習スポーツ課	R2.10.22	R2.11.2	三重県教育委員会
中島遺跡　立会調査出土遺物 土師器	1	鈴鹿市柳町 1712 番２	中島遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R2.10.7	R2.11.2	三重県教育委員会
岡太神社遺跡（第８次）発掘調査　出土遺物 土師器，灰釉陶器，山茶碗	1	鈴鹿市岡田一丁目９番１	岡太神社遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R2.10.19	R2.11.2	三重県教育委員会
坊垣遺跡出土遺物 須恵器・土師器	2	名張市夏見 3258、3257、3254-1、3253-2、3259	坊垣遺跡	名張市教育委員会教育長	個人	名張市教育委員会	R2.10.22	R2.11.25	三重県教育委員会
伊勢国府跡（長者屋敷遺跡）第 40 次発掘調査　出土遺物　土師器・須恵器・重圏文軒丸瓦・丸瓦・平瓦	25	鈴鹿市広瀬町字長塚 1248 番１・1249 番・字荒子 1030 番	伊勢国府跡（長者屋敷遺跡）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R2.11.26	R2.12.15	三重県教育委員会
蔵田遺跡（第７次）出土遺物　土師器、須恵器、陶器	2	三重県津市納所町字蔵田 676-1、687、688-1、688-2、688-3、690-1、690-3、690-4	蔵田遺跡（第７次）	津市教育委員会教育長	特定医療法人　暲純会	津市埋蔵文化財センター	R2.12.23	R3.1. 5	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市外堀 77 番地地内	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物　瓦	3	三重県桑名市吉之丸 5-1 番地先	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市吉之丸 10	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市三崎通 51 番地　地先	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
寺跡遺跡　出土遺物　陶磁器	1	三重県桑名市大字江場 430 番地 6　他 1 ヶ所（一般県道福島城南線）	寺跡遺跡	桑名市教育委員会教育長	三重県知事	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
勢以口遺跡　出土遺物　土師器・山茶碗・陶磁器	1	三重県桑名市江場三丁目 135 番地　地先	勢以口遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市職人町 48 番地	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
江場城跡　出土遺物　土師器・山茶碗・陶磁器	1	三重県桑名市大字江場字中縄 913 番 1	江場城跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
江場城跡　出土遺物　陶磁器	1	三重県桑名市大字江場字中縄 888－2 他	江場城跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	7	三重県桑名市鍛冶町 14 番地　地内	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　瓦	1	三重県桑名市元赤須賀 26 番 1	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下街遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市本町 80 番地	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
長島城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市長島町松ヶ島北島 157 他	長島城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	ナンショー株式会社	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市職人町 12 番	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器	1	三重県桑名市京町 34 番地内	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物　瓦	1	三重県桑名市吉之丸 45、46	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	株式会社エサキホーム	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物　陶磁器	1	三重県桑名市吉之丸 8-1 番地	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
柳原遺跡　出土遺物 山茶碗	1	三重県桑名市大字赤尾字屋敷 2028 番の一部	柳原遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市萱町地内（一般県道福島城南線）	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	三重県知事	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物 陶磁器	1	三重県桑名市吉之丸 45 番 3、46 番 2	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	加藤米子株式会社	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市新屋敷 126	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器	1	三重県桑名市新屋敷 16	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市川口町 35 番地先	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物 陶磁器・瓦	1	三重県桑名市吉之丸 10 番地　地内	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物 陶磁器・瓦	1	三重県桑名市三之丸 123 番 3	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市新屋敷 109 地内（一般県道桑名四日市線）	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	三重県知事	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器	1	三重県桑名市元赤須賀 28-1	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺跡　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市掛樋 25 番地地内	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物 陶磁器・瓦	1	三重県桑名市三之丸 113 番地　地先	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
多度Ｂ遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	三重県桑名市多度町柚井 1799 地内	多度Ｂ遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.12.15	R3.1.5	三重県教育委員会
東植松遺跡（範囲確認調査）出土遺物 瓦	1	鈴鹿市国分町地内	東植松遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	R3.1.4	R3.1.18	三重県教育委員会
大鳥居遺跡範囲確認調査出土遺物　土師器・須恵器	1	鈴鹿市郡山町 87 番	大鳥居遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R3.1.18	R3.2.10	三重県教育委員会
稲生城跡発掘調査出土遺物　土師器・古瀬戸・常滑焼・近世陶器・瓦	1	鈴鹿市稲生一丁目4039番、4041番2、4040番2	稲生城跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	R3.1.18	R3.2.10	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
東植松遺跡（第１次発掘調査）出土遺物 瓦、須恵器	1	鈴鹿市国分町地内	東植松遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	R3.1.27	R3.2.10	三重県教育委員会
寺跡遺跡　出土遺物 土師器・山茶碗・瓦	7	桑名市大字大福字寺跡 422-1 他	寺跡遺跡	桑名市教育委員会教育長	株式会社高麗食房	桑名市教育委員会	R3. 2.4	R3.2.25	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	桑名市吉津屋町 47	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.4	R3.2.25	三重県教育委員会
天王平遺跡　出土遺物　土師器・須恵器	2	桑名市多度町小山字天王平 2538 番 1	天王平遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.4	R3.2.25	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	桑名市柳原 21 番、22 番 1	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.4	R3.2.25	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器	1	桑名市伝馬町 24	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.4	R3.2.25	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	桑名市吉之丸 12-4	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	諸戸アイサン住拓株式会社	桑名市教育委員会	R3. 2.4	R3.2.25	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物 陶磁器・瓦	1	桑名市三之丸 60 番 6、60 番 13	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.4	R3.2.25	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物 瓦	1	桑名市三之丸地内	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R3. 2.4	R3.2.25	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	2	桑名市鍛冶町 4 番 4、32 番	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.4	R3.2.25	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器・瓦	1	桑名市鍛冶町 51	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.4	R3.2.25	三重県教育委員会
西方廃寺　出土遺物 陶磁器・瓦	2	桑名市西方 584-3	西方廃寺	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.24	R3.3.16	三重県教育委員会
桑名城跡　出土遺物 陶磁器・瓦	1	桑名市吉之丸 5-1 番地先	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R3. 2.24	R3.3.16	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　瓦	1	桑名市南魚町 35 番の一部	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	佛眼院	桑名市教育委員会	R3. 2.24	R3.3.16	三重県教育委員会
畑田遺跡　出土遺物 陶磁器・瓦	1	桑名市大字坂井字西堤 636 番 5、626 番 6	畑田遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.24	R3.3.16	三重県教育委員会
多度Ａ遺跡　出土遺物　山茶碗	1	桑名市多度町多度地内	多度Ａ遺跡	桑名市教育委員会教育長	法雲寺	桑名市教育委員会	R3. 2.24	R3.3.16	三重県教育委員会
能部北貝戸遺跡　出土遺物　陶磁器	1	桑名市大字能部字北貝戸 650 番 1	能部北貝戸遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.24	R3.3.16	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器	1	桑名市新町 24 番 1	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.24	R3.3.16	三重県教育委員会
江場貝戸遺跡　出土遺物　山茶碗・陶磁器	1	桑名市大字江場字貝戸 517 番	江場貝戸遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.24	R3.3.16	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡　出土遺物　陶磁器	1	桑名市元赤須賀 175 番、175 番 1	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R3. 2.24	R3.3.16	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
西ノ野遺跡　範囲確認調査　出土遺物 土師器	1	鈴鹿市国府町字西ノ野 10 番 4	西ノ野遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R3.3.1	R3.3.16	三重県教育委員会
西川遺跡（範囲確認調査）　出土遺物 須恵器	1	鈴鹿市郡山町下北野田 1071-38、1088-1	西川遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	R3.2.25	R3.3.16	三重県教育委員会
岡田遺跡（範囲確認調査）出土遺物　土師器	1	鈴鹿市岡田町字吉原 720 番の一部	岡田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R3.2.16	R3.3.16	三重県教育委員会
穴川遺跡発掘調査出土遺物　土器・キセル	1	志摩市磯部町穴川字中街道 194 番、194 番 1 の各一部	穴川遺跡	志摩市教育委員会教育長	個人	志摩市教育委員会生涯学習スポーツ課	R3.2.24	R3.3.16	三重県教育委員会
上野城跡出土遺物 土師器、陶磁器、瓦、木製品、金属器など	40	伊賀市上野丸之内 29 番地	上野城跡	伊賀市教育委員会教育長	伊賀市長	伊賀市教育委員会	R3.3.10	R3.3.23	三重県教育委員会

（6）出土文化財の譲与

譲与	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見
R2.4.20	四日市市長	土師器・須恵器・陶器など	15	四日市市西坂部町字山添 2454-1	江田川遺跡	R1.6.26
R2.4.20	明和町長	土師器等	1	多気郡明和町大字大淀字早登 1725 番 1	早登遺跡	H30.4.24
R2.4.20	明和町長	弥生土器	1	多気郡明和町大字金剛坂字辰ノ口 751-52	金剛坂遺跡	H30.4.24
R2.4.20	明和町長	土師器、石器片	1	多気郡明和町大字大淀字早登 1684、1685-1	早登遺跡	H30.4.24
R2.4.20	明和町長	土師器等	1	多気郡明和町大字斎宮字大頭 934 番 1、934 番 4	北野遺跡	H30.4.24
R2.5.29	鈴鹿市長	弥生土器・石器・土師器・須恵器・常滑焼・山茶碗	2	鈴鹿市須賀二丁目 1750 番の一部	須賀遺跡第 11 次発掘調査	H31.4.22
R2.5.29	鈴鹿市長	土師器・須恵器・陶器・木片	2	鈴鹿市十宮三丁目 881 番の一部	宮ノ前遺跡第 5 次発掘調査	R1.6.5
R2.5.29	鈴鹿市長	土師器・須恵器	1	鈴鹿市若松西二丁目 276 番 1、279 番 1	土師南方遺跡立会い調査	R1.6.5
R2.5.29	鈴鹿市長	土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、丸瓦、近世陶器、近世瓦、木片	1	鈴鹿市御薗町 5303 番	高井Ａ遺跡範囲確認調査	R1.6.25
R2.5.29	鈴鹿市長	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶磁器、瓦、陶丸、鉄製品	6	鈴鹿市飯野寺家町字城掛 320-5	沢城跡第 4 次	R1.6.27
R2.5.29	鈴鹿市長	平瓦	1	鈴鹿市国分町 1390 番	南浦遺跡立会調査	R1.6.25
R2.5.29	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、瓦、陶器、土馬、土錘、斎串、砥石	29	三重県鈴鹿市須賀一丁目 1695	須賀遺跡第 10 次	R1.8. 8
R2.6.10	鈴鹿市長	縄文土器・石鏃・須恵器・土師器・平瓦・陶器	8	鈴鹿市西冨田町 1322・1323・1324 番	長者屋敷遺跡第 38 次発掘調査	R1.9.26

譲与	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見
R2.6.10	鈴鹿市長	土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・平瓦・白磁・土錘・近世陶器	1	鈴鹿市御薗町 5304・5305・5306 番	高井Ａ遺跡範囲確認調査	R1.10.15
R2.6.18	鈴鹿市長	土師器・陶器（常滑焼）	1	鈴鹿市国府町字保子里 97、98-4、138-1	保子里遺跡	R1.12.23
R2.8.18	鈴鹿市長	土師器	1	鈴鹿市加佐登二丁目 2536 番４、2536 番５	加佐登遺跡	R1.12.23
R2.8.18	鈴鹿市長	土師器・須恵器・山茶碗・陶器（古瀬戸・常滑焼）	1	鈴鹿市国分町地内	国分東遺跡第５次	R1.12.23
R2.8.18	鈴鹿市長	土師器、須恵器、瓦、埴輪	3	鈴鹿市高岡町字寺山 1762 番１、1763 番	寺山遺跡第９次	R1.12.16
R2.8.18	鈴鹿市長	弥生土器・土師器・須恵器・白磁・砥石・石鏃	16	鈴鹿市木田町 2283-1、2284-1	磐城山遺跡第 12 次	R1.12.23
R2.9.11	津市長	土師器、陶磁器、瓦、銭貨	143	津市一身田町 2819 番	専修寺境内遺跡第２次	R1.12.3
R2.11.19	鈴鹿市長	弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・瓦・近世陶器	9	鈴鹿市須賀二丁目 1767 番、1768 番３・４	須賀遺跡第 12 次	R2.3.31
R2.11.19	鈴鹿市長	弥生土器・土師器・須恵器・山茶碗・陶磁器・石器	27	鈴鹿市木田町字上條 2285 番１	磐城山遺跡第 13 次	R2.3.31
R3.1.13	津市長	土師器	1	津市久居元町 2078 番地	川併神社南方遺 R1-2 次	R2.1.20
R3.1.13	津市長	土師器、須恵器	1	津市殿村 1451、1452、1454	殿村大垣内遺跡 R1-1 次	R1.12.3
R3.1.13	津市長	土師器、陶磁器、瓦	1	津市丸之内養正町 1-1	津城跡 R1-6 次	R2.1.31
R3.2.25	桑名市長	山茶碗等	1	桑名市多度町古野地内	宮ケ平Ｂ遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	土師器、陶器等	1	桑名市大字芳ケ崎 656 他	五反田貝戸遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	陶器、磁器、瓦等	1	桑名市長島町松ケ島字北島 156 番	長島城下町遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	陶器等	1	桑名市大字能部 430-1 他	能部北貝戸遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	瓦、磁器、ガラス製品等	1	桑名市新屋敷 83 番、84 番	桑名城下町遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	陶器、磁器、瓦等	1	桑名市新屋敷 140 番地、141 番地	桑名城下町遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	土師器、須恵器、瓦等	16	桑名市大字東方字城下 1308-1、1308-2、1342、1350	東方城下遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	陶器、磁器等	1	桑名市大字江場字勢以口 118 番 20 他２筆	勢以口遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	瓦等	1	桑名市元赤須賀７番１	桑名城跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	瓦、磁器等	1	桑名市伊賀町 125 番、桑名市大字地蔵字新甫田２番 18	桑名城下町遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	瓦、陶器、磁器等	103	桑名市伝馬町５番、４番 50	桑名城下町遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	瓦、磁器等	1	桑名市外堀 92 番	桑名城下町遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	磁器等	1	桑名市内堀 155-2	桑名城下町遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	磁器、瓦等	1	桑名市長島町字下町 1-1 他２筆	長島城下町遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	土師器、須恵器等	1	桑名市多度町小山字天王平 2375 番１	天王平遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	土師器、須恵器等	1	桑名市多度町小山天王平 2591-1	天王平遺跡	R2.1.24

譲与	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見
R3.2.25	桑名市長	土師器、陶器等	1	桑名市大字江場字長折 456 番 3	江場貝戸遺跡	R2.1.24
R3.2.25	桑名市長	陶器等	1	桑名市長島町又木字元薬師 573 番	長島城下町遺跡	R2.1.24
R3.3.23	桑名市長	陶器、ガラス製品等	1	桑名市伝馬町 79 番、80 番	桑名城下町遺跡	R2.3.2
R3.3.23	桑名市長	陶器、磁器、瓦等	1	桑名市吉津屋町 27 番	桑名城下町遺跡	R2.3.2
R3.3.23	桑名市長	磁器、陶器等	1	桑名市鍛冶町 3 番 4	桑名城下町遺跡	R2.3.2
R3.3.23	桑名市長	土師器、須恵器等	1	桑名市多度町小山字天王平 2410 番 1	天王平遺跡	R2.3.2
R3.3.23	桑名市長	磁器、ガラス製品等	1	桑名市内堀 97、98	桑名城下町遺跡	R2.3.2
R3.3.23	桑名市長	山茶碗、陶器等	1	桑名市大字江場字勢以口 104 番、114 番、115 番	勢以口遺跡	R2.3.2
R3.3.23	桑名市長	瓦等	1	桑名市宮町 10 番地先	桑名城下町遺跡	R2.3.2
R3.3.23	桑名市長	土師器等	1	桑名市大字大福字中野 499 番	江場貝戸遺跡	R2.3.2
R3.3.23	桑名市長	山茶碗、木製品、磁器等	1	桑名市大字下野代 782 番 3	下野代遺跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	陶器、磁器、瓦等	4	桑名市内堀 67 番、68 番の各一部	桑名城下町遺跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	磁器、陶器	1	桑名市職人町 28 番	桑名城下町遺跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	瓦	1	桑名市吉之丸 5 番 1 地先	桑名城跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	磁器	1	桑名市大字小貝須字八反田 1976 番、1976 番 1、1976 番 2、1976 番 3	若田縄遺跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	磁器	1	桑名市大字桑部字中貝戸 626 番	桑部西貝戸遺跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	磁器	1	桑名市桑部 625 番地先	桑部西貝戸遺跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	磁器	1	桑名市元赤須賀 77 番 5、77 番 6	桑名城下町遺跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	陶器、磁器、瓦等	1	桑名市船馬町 58 番地先	桑名城下町遺跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	瓦	1	桑名市三之丸 50 番地先	桑名城跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	陶器	1	桑名市船馬町 20 番 1 地先	桑名城下町遺跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	瓦、陶磁器、土師器	2	桑名市吉之丸 5-1 番地先	桑名城跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	磁器	1	桑名市内堀 70 番地先	桑名城下町遺跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	磁器、陶器	1	桑名市江戸町 21	桑名城下町遺跡	R2.3.11
R3.3.23	桑名市長	陶器	1	桑名市船馬町 20 番 1 地先	桑名城下町遺跡	R2.3.11

3　国・県指定文化財に関する諸届等

令和２年４月１日から令和３年３月31日までに申請等が行われた指定文化財に関する現状変更等の諸届の状況は下記のとおりである。なお、すでに許可を得ている現状変更に関する期間変更のみの申請及び所在場所変更のうち元の場所に復する場合の届は含んでいない。

（1）国指定文化財

①　国宝・重要文化財

文化財名称	種別	現状変更		保存に影響を及ぼす行為	毀損	防災施設機能低下	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
		国	県・市許可							
旧諸戸家住宅	建造物				2		1			3
旧松坂御城番長屋	建造物						1			1
太刀　銘来国光	工芸品							1	1	2
合計		0	0	0	2	0	2	1	1	6

②　史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		滅失・毀損	復旧	合計
		国	県・市許可			
久留倍官衙遺跡	史跡	1	1			2
伊勢国分寺跡	史跡		2			2
伊勢国府跡	史跡		1			1
王塚古墳	史跡		1			1
明合古墳	史跡		1			1
多気北畠氏城館跡	史跡		1			1
谷川士清旧宅	史跡			1		1
松坂城跡	史跡	3	6			9
阿坂城跡	史跡		1			1
斎宮跡	史跡	14	44			58
離宮院跡	史跡		1			1
旧林崎文庫	史跡	2				2
旧豊宮崎文庫	史跡		1			1
赤木城跡及び田平子峠刑場跡	史跡		1			1
熊野参詣道　紀伊路　中辺路　大辺路　小辺路　伊勢路　熊野川　七里御浜　花の窟	史跡		2	2		4
上野城跡	史跡		9	1		10
旧崇広堂	史跡			1		1
伊賀国庁跡	史跡	1				1
長楽山廃寺	史跡		1			1
城之越遺跡	名勝・史跡		2			2
旧諸戸氏庭園	名勝		2	1		3
諸戸氏庭園	名勝	7	1			8
三多気のサクラ	名勝			2		2
二見浦	名勝		2			2
合計		28	80	8		116

③　天然記念物

文化財名称	現状変更		滅失・毀損	復旧	合計
	国	県・市許可			
カモシカ	1		3		4
オオサンショウウオ	14	9	9		32
ネコギギ	19	20	6		45
ヤマネ	1	3			4
イタセンパラ	1				1
ミヤコタナゴ	1				1
田光のシデコブシ及び湿地植物群落	1	2			3
大島暖地性植物群落	1	3			4
セマルハコガメ	1				1
御池沼沢植物群落		1			1
須賀利大池及び小池		1			1
椋本の大ムク		1			1
多度のイヌナシ自生地		1			1
合計	40	41	18		99

（2）県指定文化財

①　有形文化財

文化財名称	種別	現状変更	毀損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
旧諸戸家住宅（六華苑）	建造物		2	2			4
旧小津家住宅	建造物			3			3
旧三重県第三尋常中学校校舎	建造物		2				2
入交家住宅	建造物		1	2			3
紺紙金銀泥阿唯越致遮経	書跡		1	1			2
銅造阿弥陀如来立像	彫刻				1		1
合計		0	6	8	1	0	15

②　民俗文化財

文化財名称		現状変更	毀損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
越賀の舞台	有形民俗	1					1
参宮講看板 附たわらや看板	有形民俗					1	1
合計		1				1	2

③　史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		滅失 毀損	復旧	所有者 変更	合計
		県	市許可				
桑名城跡	史跡		1				1
神戸の見附	史跡		1				1
津城跡	史跡		2				2
長谷川氏旧宅	史跡		1				1
大河内城跡	史跡		1				1
田丸城跡	史跡	12					12
北畠具教三瀬館跡	史跡	1					1
大内山の一里塚	史跡	1					1
旧越賀村郷蔵	史跡	1					1
城之越遺跡	史跡		1				1
名張藤堂家邸跡	史跡			1			1
蓑虫庵	史跡・名勝	1					1
伊奈冨神社庭園	名勝	3	1				4
稲生山の躑躅	名勝	4	5				9
瑞巌寺庭園	名勝	1					1
宮川堤	名勝	1	3				4
合計		25	16	1			42

④　天然記念物

文化財名称	現状変更		滅失 毀損	復旧	所有者 変更	合計
	県	市許可				
川俣神社のスダジイ	1					1
嘉例川ヒメタイコウチ生息地	1					1
篠立の風穴	1					1
池ノ谷のモリアオガエル繁殖池	1					1
おおだいがはらさんしょううお	2	1				3
長太の大楠	2		1			3
市木のいぶき	2					2
地蔵大マツ	1		2			3
奥山愛宕神社のブナ原生林			1			1
川島町のシデコブシ群落					1	1
野登山のブナ林		2				2
ジュロウカンアオイ自生地		1				1
合計	11	4	4		1	20

4　文化財の公開・普及

（1） 文化財関係の表彰

〇令和２年度　該当者なし

（2）三重県文化財講習会（第38回）

文化財保護に関する知識と技能等の研修を行い、資質の向上を図るとともに、文化財の保存と活用の強化に資するため、文化財保護に携わっている文化財所有者、管理者、三重県文化財保護指導委員、市町文化財保護関係委員、文化財保護行政担当者等を対象として年 1 回、三重県指定文化財等所有者連絡協議会・三重県総合博物館と共催で講習会を行っている。令和２年度は一般の参加者にも公開した。

日　　時	令和２年 11 月５日（木）	場　所	三重県総合文化センター 生涯学習センター棟　視聴覚室	参　加　者	82 名
テ　ー　マ	『最前線！文化財の整備と活用　～城・庭・建物～』				
内　　容	講　　演　「諸戸氏庭園・六華苑の整備とまちづくり」水谷　芳春　（桑名市市長公室ブランド推進課） 「諸戸氏庭園・諸戸家住宅の活用」諸戸　公子（(公財）諸戸財団） 「松坂城跡の整備とまちづくり」寺嶋　昭洋（松阪市産業文化部文化課） 連　　絡　「三重県文化財保存活用大綱について」 パネル展　「三重の仏像入門」（三重県総合博物館）				

（3）第６２回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

近畿・東海・北陸ブロック 12 府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高めることを目的として毎年度開催されている。令和２年度は富山県富山市で実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となった。

（4）文化財保護強調週間（令和２年 11 月１日～7 日）

市町関連行事の照会はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

（5）文化財防火デー

○関連防火運動実施状況（令和２年１月 26 日以外に実施したものも含む）

	防災訓練	消防設備点検	防災指導	広報活動等
県	2	2	2	2
市	6	16	9	24
町	5	10	8	15
計	13	28	19	41

（6）文化財保護の組織（令和２年４月１日現在）

社会教育・文化財保護課　　課長　林　幸喜

有形文化財班

班長	伊藤　裕偉
主幹兼係長	齋藤　清美
主幹	西村　美幸
主査	上田　克彦
主査	杉田　聡子
主任	和澄　さやか

記念物・民俗文化財班

班長	小濵　学
係長	伊藤　文彦
主任	渡辺　和仁
主任	亀井　勇希
主任	小原　雄也
技師	水谷　侃司

Ⅴ　資料紹介

1　仏土寺出土品　水晶製舎利塔１個　陶製壺１個

指定区分：県指定有形文化財（考古資料）　考９号
指 定 日：昭和 60 年３月 27 日
所 在 地：伊賀市東高倉 3444
所 有 者：仏土寺

(1)概要

本資料が出土した仏土寺は、旧伊賀国阿閉郡に位置する。現宗派は真言宗豊山派である。本堂に安置されている木造阿弥陀如来坐像及び両脇侍像は国の重要文化財に指定されており、阿弥陀如来坐像には承安２年(1172)の紀年銘を含む胎内銘が残る。境内には、江戸時代の後補が入るものの、当初は鎌倉時代後期に造立されたと考えられる２基の石造多宝塔（県指定有形文化財）が並び立ち、壮観な趣を醸し出している。これらの文化財は、本資料の出土地が平安時代以降の重要な寺院であることを示している。

(2)文化財の詳細

本資料は、仏土寺の墓地造成に伴って出土したと伝わる水晶製の五輪塔形舎利塔と陶器壺である。

水晶製舎利塔　やや白濁した水晶の結晶を原材とした舎利塔である。五輪塔形を呈し、身部分の火・水・地輪部分のみ遺存する。蓋部は空風輪形と考えられる。高さ 2.85 ㎝、最大幅の地輪部で 1.75～1.8 ㎝である。火輪・地輪部の横断面は六角形、水輪部の横断面は円形である。六角柱の原材（水晶の結晶）から研磨によって水輪部を作り出し、火輪の屋根は削り込みによる整形と見られる。火輪の降棟は直線的だが、軒先間を下げることで反りを表現する。水輪の上下は丸く、２㎜程度の円棒状工具で回転研磨し整形したと考えられる。地輪の上面は水落し状に傾斜し、底面には面取りが見られる。火輪の頂部から、始点直径約７㎜、終点直径約２.５㎜、深さ約 1.8 ㎝の穿孔が開けられている。

陶製壺　信楽焼の壺で、法量は口径 6.5cm、底径 10.1cm、高さ 15.0cm である。焼成は良好で、灰白色の胎土に長石を多く含む。外面の調整は回転ナデで、底部付近に工具ナデの痕跡がみられる。内面は調整が少なく粘土の継ぎ目がみられる。口縁部は回転ナデで調整され、片口のつくりは、人差し指で外側へ引き出し、添えられた親指と中指の跡はほとんどみられない。口径の中心点が、底径の中心点からずれており、やや粗雑な成形に感じられる。

(3)所見

水晶製舎利塔は、瀬古区（津市白山町川口）所蔵の同形資料等から、13 世紀後葉頃のものと考えられる。水晶製舎利塔は火葬墓の普及に伴って用いられるものだが、鉱石の性質を活かしながら整形する入念な造作で、全国的に見ても類例の少ない貴重な資料である。

陶製壺は、信楽焼における小型壺の型式学的検討が深化していないため、この 1 点をもってして製作年代を特定することは困難である。しかしながら、仏土寺境内からは 13 世紀後葉から 14 世紀前葉と考えられる信楽焼の壺がほかにも出土していることから、概ね同様の時期に製作されたものであると推察する。また、この時期に埋納された信楽焼の小型壺で内容物を伴って出土することは稀有である。時代はやや下るが 15 世紀中葉以前に埋納された長寿寺（滋賀県湖南市）三重塔跡出土の信楽焼壺は、口を鏡で塞ぎ中に朱塗りの自然石５つと籾が入っていたことで知られているが、本資料はそれよりも古い段階でその使用用途が解明されている点についても大変貴重な資料である。

仏土寺には、本資料以外にも墓地造成に伴って出土した 13 世紀後葉頃の陶器大形甕（常滑産）が保管されている。２基の石造多宝塔の存在とあわせ、寺院境内に重要な供養域・墓域が形成されていたことを物語っている。

2　水晶製舎利塔　附　陶製壺１個

指定区分：県指定有形文化財（考古資料）　考 10 号
指 定 日：昭和 31 年 12 月５日
　　（昭和 60 年３月 27 日　追加指定）
所 在 地：津市白山町川口
所 有 者：瀬古区

(1)概要

本資料は、津市白山町川口瀬古区地内にかつて存在した「高田寺」に関係する遺物である。当地は旧伊勢国一志郡に位置する。現在、旧高田寺境内の一部は瀬古集会所となっている。瀬古区では、９世紀代の秀麗な「檀像」として著名な木造十一面観音立像（国重要文化財）、鎌倉後期の木造薬師如来坐像（県指定有形文化財）が旧高田寺の遺品として大切に保管されている。

(2)文化財の詳細

本資料は、旧高田寺境内の石造層塔（現在は他所へ移設）の下から出土したと伝わる水晶製の五輪塔形舎利塔と陶器壺である。

水晶製舎利塔　透明度の高い水晶の結晶を原材とした舎利塔である。五輪塔形を呈し、空風輪が蓋、火・水・地輪部が身で、蓋下部が細く整形され枘となり、身部に差し込まれる。

蓋は枘部先端を欠損しており、現存高 2.15 ㎝、空風輪高は 1.42 ㎝、最大幅の風輪部で 1.22 ㎝である。全体に円形に研磨調整されるが、風輪側面が光沢のある丁寧な研磨なのに対し、空輪及び枘部の研磨は白濁した状態で止めている。風輪の下面は研磨時の螺旋状削痕が残る。

身は、高さ 2.62 ㎝、最大幅の地輪部で 1.73 ㎝である。火輪の一部を欠損する。火輪・地輪部の横断面は六角形、水輪部の横断面は円形である。六角柱の原材（水晶の結晶）から研磨により水輪部を作り出し、火輪の屋根は削り込みで整形したと見られる。火輪の降棟はややむくり気味で、軒先の端面は不揃いである。水輪の上下は丸く、1.5 ㎜程度の円棒状工具で回転研磨し整形したと考えられる。地輪の上面は水落し状の傾斜があり、底面は面取りされる。水輪の上下を除き、光沢のある丁寧な研磨が施される。火輪の頂部から、始点直径約 5.1 ㎜、終点直径約 3.8 ㎜、深さ約 1.6 ㎝の穿孔が開けられている。

陶製壺　常滑産の短頸壺で、いわゆる「不識壺」である。口径 16.9 ㎝、器高 20.2 ㎝で、口縁部の一部を欠損するのみで、ほぼ完存する。口縁部はＮ字状を呈し、外面は口縁から頸部に回転ナデ、頸部から肩部に板状工具による横方向ナデ、体部下半には板状工具による縦方向ナデが施される。底部は押圧のみの調整である。体部内面には素地巻き上げ痕が残る。肩部には、二重線で形成した６区画に「×」字形をあしらったスタンプ文を２箇所並べて押している。13 世紀後葉頃のものと考えられる。

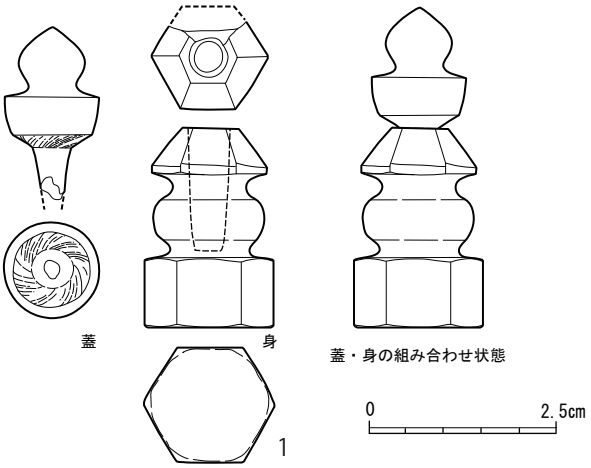
(3)所見

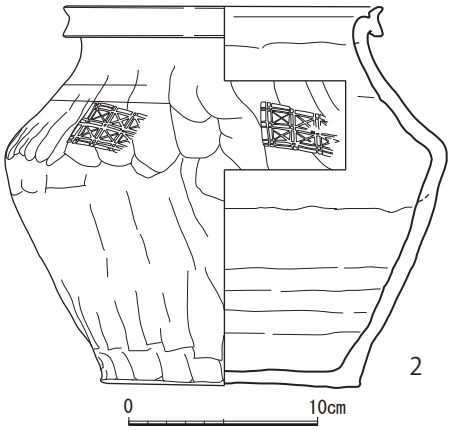
旧高田寺境内に所在していた石造層塔には、「南無當来導／師弥□□／正應五壬辰三月／八日起立之」の銘が刻まれていることが、瀬古区に伝わる「諸要用控誌」という史料（「寛政四年」の年号が記載されている）からも確認できる。常滑産陶器壺も、これまでに示されている 13 世紀後葉頃という年代観にズレは無い。このため、水晶製舎利塔・陶器壺ともに正応５年(1292)までに製作されたと考えてまず間違いないと考えられる。つまり、本文化財はいわゆる「紀年銘資料」準じるものとしての価値がある。水晶製舎利塔は透明度が高く、全体形が窺えるものとして貴重である。瀬古区に残された仏像とともに、旧高田寺の重要性を物語る文化財である。

【参考文献】

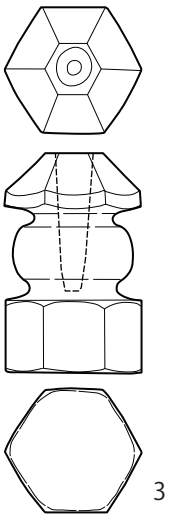
藤澤典彦「仏教導入以後の副葬行為―中世～供養目録を中心に～」（『季刊考古学』第 70 号、雄山閣、2000 年）
中野晴久「常滑窯」（『愛知県史』別編窯業３、愛知県、2012 年）
三重県教育委員会『三重県の文化財保護』昭和 59 年度（三重県教育委員会、1985 年）

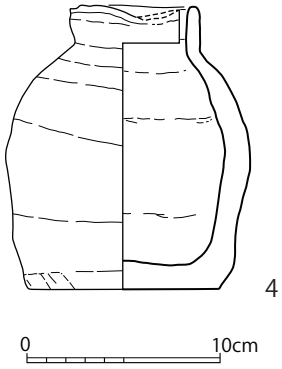
水晶製舎利塔附陶器壺（1・2）
（津市白山町川口・瀬古区：旧高田寺）



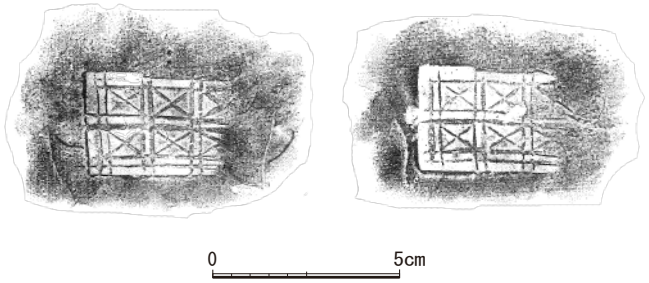


仏土寺出土品（3・4）
（伊賀市東高倉・仏土寺）





拓本（2）

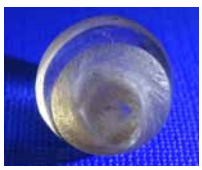


1　全体形

水晶製舎利塔附陶器壺（1・2）

仏土寺出土品（3・4）

3　全体形



1　蓋（下面）

1　身

2　上から

4　上から

3　上から

三重県の文化財保護

令和２年度

発行　令和３年 10 月
編集　三重県教育委員会

三重県内　国・県指定等文化財数

令和３年３月 31 日現在

種別		国	県	計
重要文化財（有形文化財）	建造物（内、国宝２）	25	44	69
	絵画	20	44	64
	彫刻	67	114	179
	工芸品	19	60	78
	書跡・典籍・古文書（内、国宝文書３）	44	59	102
	考古資料(内、国宝１）	10	31	41
	歴史資料	4	10	14
	小計	**189**	**362**	**551**
無形文化財	工芸技術	1	1	2
	芸能	0	1	1
	小計	**1**	**2**	**3**
民俗文化財	無形民俗文化財	10	38	48
	有形民俗文化財	1	25	26
	小計	**11**	**63**	**74**
記念物	特別史跡	1	–	1
	特別天然記念物	2	–	2
	特別名勝及び天然記念物	1	–	1
	史跡	37	71	107
	史跡及び名勝	0	3	3
	史跡及び天然記念物	0	0	0
	名勝	6	8	14
	名勝及び史跡	1	0	1
	名勝及び天然記念物	0	1	1
	天然記念物（地域を定めず）	15	4	19
	天然記念物	21	78	99
	天然記念物及び名勝	1	1	2
	小計	**85**	**166**	**251**
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	–	1
文化財の保存技術（選定）		0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		15	11	26
重要文化的景観（選定）		0	0	0
登録有形文化財		279	–	263
登録有形民俗文化財		1	–	1
登録記念物		2	–	2
小計		**298**	**11**	**309**
総計		**584**	**604**	**1188**

ふるさと文化財の森	**4**		**4**